

決算に係る主要な施策の成果

平成21年度

伊勢市

目 次

一 般 会 計	
議 会 費	1
総 務 費	2
民 生 費	16
衛 生 費	31
労 働 費	41
農 林 水 産 業 費	45
商 工 費	53
観 光 費	56
土 木 費	59
消 防 費	76
教 育 費	80
災 害 復 旧 費	97
公 債 費	100
国民健康保険特別会計	101
老人保健医療特別会計	104
後期高齢者医療特別会計	105
介護保険特別会計	106

主要な施策の成果

【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予算現額 330,838 千円
 決算額 327,303 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				327,303

議会事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 政務調査費	4,561	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	121
2. 議会広報経費	8,178	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動について市民に広報するため、「いせ市議会だより」を発行、各戸配付した。 年間発行 4回 ○市議会放映 市議会活動について市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をCATVで録画放映した。 会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放映。 本会議放映 1日2回 延べ19日 予算・決算特別委員会放映 1日2回 延べ 7日 ○会議録検索システムインターネット配信 市議会本会議の会議録をインターネットを通じて配信し、情報公開の充実を図った。	121

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 2,164,025 千円
 決算額 2,143,037 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
72	8,465		12,457	2,122,043

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 行財政改革推進事業	56	伊勢市補助金等適正化委員会を開催し、補助金交付に係る基本方針と交付基準及び合併によって不均衡が生じている補助金について提言をいただいた。	123

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域自治推進事業	5,500	「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、各小学校区に「地区担当職員」を配置し、地域自らのまちづくりを支援するとともに、その取り組みに対する地域住民の理解促進と気運の醸成を図った。また、ふるさと未来づくり推進計画を検証するためモデル地区を選定した。さらに地域リーダー養成のための研修会や市民の自治意識の啓発のための講演会を開催した。	123

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 2,206 千円
 決算額 2,154 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			156	1,998

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	2,154	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修(人材育成カレッジ除く) 研修数11回 受講者数 883名 ②一般研修(人材育成カレッジ) 研修数45回 受講者数 896名 ③派遣研修 研修数42回 受講者数 76名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 57.8% 一般研修 56.0% 派遣研修 89.6% ②意識向上度 研修全体 51.7% 一般研修 49.5% 派遣研修 89.6%	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 53,207 千円
 決算額 50,715 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,566	36,149

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行业	14,681	「広報いせ」(毎月1日発行)と「伊勢市おしらせ版」(毎月15日発行)を定期的に発行し、市政の方針や事業計画の概要、市の行事予定などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	125
2. CATV広報いせ放送事業	30,370	地域に根ざした行政情報番組「伊勢市テレビ広報『みてきて伊勢』」を制作し放送した。 行政情報だけでなく、市民活動センターやセンター登録団体からの情報をお知らせする「市民活動ニュース」や、市民が参加した行事やできごとを伝える「まちの話題」を放送した。 また、平成23年7月の地上デジタル放送への移行にむけて、平成21年10月よりケーブルテレビの地上デジタル放送で行政チャンネルの放送を開始した。	125
3. ケーブルテレビ加入促進事業補助金	3,100	ケーブルテレビの加入促進を目的に、新たにケーブルテレビに加入する市民に、ケーブルテレビ加入促進補助金を交付した。 交付金額 宅内工事費 3,100,000円(個人 5,000円×620件)	125
4. 市政モニター事業	239	市民等の意見を市のホームページから集約、市の施策を検討する上での基礎資料とするため、アンケートシステムを構築し、平成22年3月から開始した。	125
5. 各種相談事業	2,289	市民からの多様な相談に対応するため、法律・行政・交通事故・多重債務などの市民相談を実施した。 法律相談については、毎週月曜日に実施し、利用者は366人(1日平均7人)であった。	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 419,595 千円
 決算額 405,960 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
51,865				354,095

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住民情報システム管理経費	220,451	住民基本台帳、税、国保、及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの賃貸借、保守管理、及び各業務に係る計算処理や帳票出力処理等の業務を委託し、事務の迅速化と効率化を図った。	127

2. 行政情報システム 管理経費	118,893	全庁で利用する財務会計・文書総合管理・グループウェア等、内部情報系システムの賃貸借及び保守管理を行った。また、各種システムの一元的な運用を図ることで、情報共有・事務効率の向上及び維持管理経費の削減を図るために、平成20年度より、リース期間の満了に合わせてこれら全てのシステムを一体的なものへ更新を行ない、本年度は、出退勤及び人事・給与システムの更新を実施し、対象としていた全システムの更新を完了した。	127
3. ITセキュリティ 対策事業	53,958	旧式の処理能力が低いクライアントパソコンを最新機種に置き換え、脆弱性に対するセキュリティの向上と事務処理能力の向上を図った。また、ウィルス対策ソフトを最新のバージョンに更新し、ウィルスに対するセキュリティレベル確保に努めた。 業務用データの一元的な管理とセキュリティの向上のため、本庁ならびに総合支所用として、ファイルサーバ用の機器4組を調達するとともに、サーバ構築ならびに運用方法等について検討を進めた。 事務系パソコンについて、ウィルス定義ファイルや、セキュリティプログラムの更新状況を管理する、資産管理システムを導入し、システム化による管理面での強化とともに、遠隔管理による作業等の効率化を図った。	127

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 企画費

(単位 千円)

予算現額 7,514 千円
決算額 6,202 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				6,202

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 総合計画推進事業	906	平成20年～24年を計画期間とする「みんなのまちの計画（伊勢市総合計画）」の実現を目指し、必要となる取り組みの検討・実践、及び実現状況の確認を行った。 (1) 伊勢市まちづくり市民会議の運営（分科会・運営委員会の開催） ①自治と行政のしくみ 開催16回：延べ参加者111人 ②人権・教育・文化 開催 9回：延べ参加者 89人 ③環境 開催12回：延べ参加者 93人 ④生活・健康・福祉 開催 9回：延べ参加者 88人 ⑤防災・防犯 開催 8回：延べ参加者100人 ⑥産業 開催 9回：延べ参加者 56人 (2) 市民アンケート 計画に定める指標の現状の値を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を行った。 期 間：平成22年1月7日～平成22年2月1日 対象者：市内在住の15歳以上の方から無作為抽出4,000名(1,000名×4種類) 調査票： 「生活・健康・福祉」、「防災・防犯+交流都市基盤」 「人権・教育・文化+環境」、「自治と行政のしくみ+産業」 回答率：43.5%（回収数 1,740通）	127

2. 首都圏情報発信事業	3,276	企業誘致、観光誘客等を推進するため、首都圏における情報発信・収集機能を充実させることを目的とし、首都圏在住で幅広い人脈を持つ伊勢市にゆかりの深い方（特命員）のご協力をいただき、首都圏の企業、団体、個人等による「ふるさと人材ネットワーク」を形成し、そのネットワークを活用した企業誘致、観光の振興等のための情報発信・収集に取り組んだ。 ・活動日数：185日 ・面談数：147の団体、個人（340回訪問） ・特命員の紹介によるふるさと納税依頼：申込27件	127
3. 宮川流域連携事業負担金	700	「宮川と共に生きる会(平成9年1月28日設立：1市9町4村 ※当時)」を発展的に解消して設立した、宮川流域ネットワーク協議会（平成12年6月9日設立：1市6町、三重県、国関係機関、宮川流域案内人の会）に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動を実施した。 ・宮川流域子ども川サミットの開催 ・流域情報誌「RiverVoice 清流宮川応援新聞」の発行（流域市町全戸配布） ・宮川流域いつせいチェックの実施 ・流域案内人等資質向上への支援 ・宮川流域テキストの作成 ・美し国の清流“宮川”推進事業の実施 ①宮川シンポジウムの開催～日本一の清流目指して～ ②宮川流域市町連携スタンプラリーの開催 ③宮川流域エコミュージアム大会の開催 ④宮川プロジェクト活動報告会の開催	127

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 10. 市史編さん事業推進費

(単位 千円)

予算現額 44,083 千円
決算額 29,680 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,793	21,887

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市史編さん事業	29,680	各専門部会の編集方針や調査計画に基づき、委員等により史料調査、執筆活動等を行い、市史各編の編さんに向けての作業を推進した。	127

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 11. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 2,796 千円
決算額 2,376 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
204	233		240	1,699

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 情報紙発行事業	611	男女共同参画に関して、広く市民に情報発信するため、公募市民5人の企画編集による情報紙「れいんぼう」を9月と3月の2回、発行し、市内各戸に配布した。	129

<p>2. 男女共同参画推進 都市事業</p>	<p>1,530</p>	<p>1 男女共同参画推進事業委託 「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現をめざした取組を行った。なお、企画運営は、公募市民12人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」と協働で行った。 (1) パートナーの日の啓発事業 ①啓発用ティッシュの配布 ②坂東眞理子講演会の開催 入場者数 380人 (2) 男の料理教室、パパと一緒にクッキングの開催 参加者数 延べ58人(3回開催) (3) 生活講座の開催 ①タッピングタッチ教室 参加者数 35人 ②心と体のリフレッシュ講座 参加者数 39人 (4) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催 県内の男女共同参画を推進するため、県内の男女共同参画センター3館と5市が連携して映画祭を開催した。 2 男女共同参画審議会の開催 男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について審議した。 3 人材育成講座の開催 男女が個々の能力を発揮できる力を身につけ、男女共同参画を理解してもらうための人材育成講座を開催した。 参加者数 延べ44人</p>	<p>129</p>
<p>3. DV被害者臨時生活 支援給付金事業</p>	<p>204</p>	<p>定額給付金給付事業及び子育て応援特別支給事業の対象者でありながら、DV被害から逃れるために住民票とは異なる場所に住んでいる女性や子どもに対して、定額給付金事業等による給付金及び手当とは別に、同額のDV被害者生活支援給付金を市独自で支給した。</p>	<p>129</p>

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 244,857 千円
 決算額 187,982 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,481			13	157,488

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	30,339	(1)本庁舎暖房用ボイラー改修工事 本館建設当時(昭和40年)より使用してきた暖房用ボイラーで、耐火材が老朽化・劣化しており、交換部品等がなく、今後の使用についての保証がなかったため改修した。 (2)本館エレベーター改修工事 本館建設当時(昭和40年)より使用してきたエレベーターで老朽化が激しく、故障が起きれば交換部品がなく、修繕が不能となる危険性があった。また、停電時には最寄の階まで動いてドアが開く等の機能もなかったため、モーター・制御盤等を取り替え、利用者が安全に使用できるよう改修した。 (3)朝熊ふれあい会館トイレ改修工事 利用者の高齢化、多様化から和式トイレを洋式トイレに改修し、会館利用者の利便性を図った。 (4)本庁舎地上デジタル放送対応改修工事 現在のテレビ配線は、ケーブルの老朽化から地上デジタル放送に対応できないため、配線を取り替える工事等を行い、デジタル放送の視聴を可能にした。	133

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	11,781	二見総合支所の老朽化により屋上から室内に2箇所から雨漏りが発生しているため、防水改修を行った。 二見総合支所屋上防水改修工事 11,781千円	133

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	3,369	小俣総合支所便所改修工事 庁舎のトイレは、1階男子トイレ内の障がい者用トイレを除き全て和式便器であるため、来庁される市民及び職員の利便性向上のために、各階男女便所に1箇所ずつ洋式便器を設置した。	133

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 113,645 千円
 決算額 111,906 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
586			27,444	83,876

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民活動促進事業	16,851	平成16年4月に公設公営でいせ市民活動センターを稼働し、同年7月には、指定管理者制度を導入して公設民営で稼働。平成21年度から第3期目(3ヵ年)の指定管理者を特定非営利活動法人いせコンビニネットに選定している。 平成21年度指定管理料15,919,000円	133
2. コミュニティ助成事業補助金	27,400	(財)自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会に補助金を交付した。 交付決定団体は8自治会	133
3. 元気なまちづくり協働事業補助金	7,669	市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。 交付決定団体は135自治会	135
4. 活性化活動事業補助金	762	市内で活動を行う地域グループや活動団体に対して、元気で活気溢れる地域づくりの支援をするため実施。平成16年度に旧小俣町で補助制度の運用を開始。 申請団体数12団体、交付決定団体数7団体	135
5. 伊勢のまつり開催事業	6,500	平成20年度から、市民主体の実行委員会を立上げ企画運営を行い、平成21年度は名称を公募により「伊勢まつり」と改称し、開催日も9月の最終土曜日・日曜日に変更し開催された。また、まつりの運営は実行委員及び参加者が行い、市民主体の“まつり”という意識が現れてきた。伊勢音頭などのパレードや踊り、太鼓、出展・出店の参加団体があった。 実施日 : 平成21年9月26日(土)、27日(日) 実施場所 : 高柳商店街周辺～伊勢市駅周辺 来場者数 : 約15万人 参加団体・参加者数 : 210団体、6,767人	135

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	5,000	地域づくり、協働によるまちづくりを目的として市民で構成する実行委員会が主催し「第13回おぼたまつり」を開催した。 実施日 : 平成21年8月22日(土) 実施場所 : 市営大仏山公園スポーツセンター 観客動員数 : 約10,000人 参加団体 : 13団体 参加者数 : 約350人	135

御菌総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつり開催事業	5,000	河川愛護の啓発と地域住民のふれあい、協働によるまちづくりを目的として、市民で構成する実行委員会が主催し、「御菌ラブリバーふれあい祭り」を開催した。 実施日 : 平成21年10月11日(日) 午前11時00分～午後6時30分 実施場所 : 宮川ラブリバー公園 観客動員数 : 約12,000人 参加団体 : 15団体 参加人数 : 約350人	135

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 21. 自治区振興費

(単位 千円)

予算現額 138,220 千円
決算額 138,016 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				138,016

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地区連絡員事業	100,985	行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、市内に地区連絡員(172人)を配置し、行政情報等の伝達を行った。 (1)市の広報紙、おしらせ版等の配付(各月1回) (2)その他市長が特に必要と認める職務	135
2. 区長謝礼事業	7,260	市内172自治会の活動について、行政委員の候補者推薦業務等様々な依頼事項に対する謝礼を交付した。	135
3. 振興助成金事業	27,044	地域における自治活動を支援・推進するため市内172自治会に助成金を交付した。	135
4. 総連合自治会運営補助金	1,430	伊勢市総連合自治会に加盟する162自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	135

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自治区振興事業	220	自治会が地域社会の活性化をめざし自主的に取り組む活動を支援するため、補助を行った。(補助率3/10) ・拡声放送施設設備費補助金 3件 20千円 ・集会所修繕費補助金 1件 200千円	135

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自治区振興事業	1,077	自治会が地域社会の活性化をめざし自主的に取り組む活動を支援するため、集会所施設の維持補修・修繕、電気使用料に対して補助を行った。 ・維持補修・修繕 1件 225千円 ・電気使用料(1/2補助) 25件 829千円 ・備品購入 1件 23千円	135

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 22. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 1,054 千円
 決算額 924 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			275	649

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国際交流推進事業	858	○外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」日本語版、中国語版、ポルガル語版、英語版の作成、配布を行った。 ○伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供、講演会・交流会の開催及びボランティア活動の推進に努めた。また他団体とも協力し、国際交流のまちづくりを推進した。	135
2. オーストラリア中学生交流事業	66	伊勢市在住の中学3年生24人をオーストラリア・ゴールドコースト市へ派遣する予定であったが、新型インフルエンザの影響で中止とし、代替として県の国際交流員やALTを招いて国際理解講座を開催し、中学生の国際感覚を養った。	135

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 23. コミュニティセンター費

(単位 千円)

予算現額 62,359 千円
 決算額 61,134 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
607			49,943	10,584

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 今一色地区コミュニティセンター新築事業	49,085	標高が低く海に面している今一色地区の災害時の緊急避難施設建設の要望を受け、同地区出身者の寄付金を基金とした財源を基に、防災設備を備えたコミュニティセンターを、平成20年度からの繰越事業として実施し、本年度竣工した。	135

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 24. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 40,570 千円
 決算額 39,637 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				39,637

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防犯啓発事業	3,654	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、地域安全活動を推進した。</p> <p>○地域安全講習会の開催 各自治会・老人会等を対象に地域安全講習会を精力的に開催して、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。平成21年度の講習会開催状況は、次のとおりである。 平成21年度 36回 1,885名参加</p> <p>○地域安全展の開催 伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設けて、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。 共催 伊勢度会地区生活安全協会 伊勢市防犯推進協議会 日時 平成21年9月27日(日) 内容 ・ 防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布 ・ 似顔絵 ・ 白バイと記念撮影 ・ 防犯機器等の展示 ・ その他啓発用品の配布</p>	137
2. 防犯灯設置等補助金	26,159	<p>夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯新設 66地区 (137箇所) ・ 防犯灯修繕 141地区 ・ 防犯灯電気代 160地区 	137

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 25. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 137,774 千円
 決算額 130,959 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,000	18,680		28,019	66,260

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全啓発事業	13,502	(1) 伊勢市交通安全都市推進協議会により、児童をはじめとする市民の交通安全意識の高揚を図った。 ①伊勢市児童交通安全図画ポスター展の協力 応募総数1,506点 ②夜光反射材等の啓発物品の購入配布 反射タスキ・シール7,000個等 (2) 伊勢・度会地区交通安全対策協議会により、広域的な見地から交通事故のない社会づくりを図った。 ①交通安全教室の開催 123回(うち市内87回) ②シルバー・サポート隊活動 24地区(うち市内18地区) 対象者数 1,308人(うち市内947人)	137
2. コミュニティバス 運行事業	95,056	コミュニティバスの運行により、現況の民間鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民の福祉向上を図った。 運行业務 一式 調査及び検討業務 一式 運行に伴う施設整備業務 一式 (参考) 平成21年度利用者数 68,932名 平成20年度利用者数 60,029名	137
3. 路線バス運行維持 事業	12,106	廃止路線代替バス、不採算路線バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。 不採算路線バス(沼木線) 11,770,000円 うち交通政策課負担分 5,720,000円 うち学校教育課負担分 6,050,000円 廃止路線代替バス(玉城線) 8,114,400円 うち伊勢市負担分 6,386,100円 うち玉城町負担分 1,728,300円	137

<p>4. 伊勢地域観光交通対策推進事業</p>	<p>5,000</p>	<p>平成17年8月に発足した「伊勢地域観光交通対策協議会」で、伊勢地域周辺における交通施策を実施した。</p> <p>(1) 初参り交通対策 外宮・内宮・二見周辺の来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 また、サンアリーナ臨時駐車場を拠点に外宮、内宮、二見にシャトルバスの運行を行った。</p> <p>(2) 宇治橋渡始式交通対策 看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の開設を行うとともにサンアリーナ臨時駐車場～内宮にシャトルバスの運行を行った。</p> <p>(3) ゴールデンウィーク交通対策 看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の開設を行うとともにパーク&バスライドの社会実験として、サンアリーナ臨時駐車場～内宮、外宮経由宮川ラブリバー公園臨時駐車場～内宮の2ルートでシャトルバスの運行を行った。</p> <p>(4) 9月の連休（シルバーウィーク）の交通対策 看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の開設を行った。</p> <p>(5) その他 土日祝日に宇治浦田交差点へ警備員を配置し、車両誘導を行った。 また、3連休等の混雑期には、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の開設を行った。</p>	<p>137</p>
--------------------------	--------------	--	------------

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 27. 定額給付金事業費

(単位 千円)

予算現額 2,162,036 千円
決算額 2,101,237 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,100,808			429	

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. 定額給付金交付事業</p>	<p>2,060,428</p>	<p>平成21年2月1日現在の伊勢市住民へ生活支援と地域の経済対策に資するため、1人につき1万2千円（ただし、65歳以上の者及び18歳以下の者は2万円）給付。 給付世帯は、52,416世帯／対象は、53,281世帯 給付人は、133,909人／対象は、134,892人 給付額は、2,060,428,000円／対象は、2,073,528,000円</p>	<p>139</p>

(款) 2. 総務費 (項) 2. 地域振興費 (目) 1. 振興開発費

(単位 千円)

予算現額 162,986 千円
 決算額 161,252 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
149,838				11,414

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 企業立地推進事業	1,066	産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、情報収集などを実施した。	139
2. 工場等誘致奨励事業	151,259	「伊勢市工場等誘致奨励条例」及び「伊勢市工場等誘致奨励条例の臨時の特例措置に関する条例」に基づき、奨励金を交付した。 奨励金実績 151,259,000円(2件)	139

(款) 2. 総務費 (項) 3. 徴税费 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 110,041 千円
 決算額 107,397 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			694	106,703

課税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	50,513	適正・公平な課税を行うため、以下の業務を行い、その経費を支出した。 ○土地鑑定評価(時点修正)業務委託 10,077千円 平成21年度評価替え用に決定した鑑定評価額を、地価下落等に伴う変動を反映させ現状に則した価格とするための時点修正。 ○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 33,947千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込み。 ○固定資産関係資料(航空写真)作成業務委託 6,300千円 固定資産課税客体の現状把握及び平成24年度評価替えの基礎資料とするため、市内全域の航空写真撮影とデータ化を行った。 ○家屋評価システム運用保守 189千円 家屋評価システムの安定稼働維持のためのソフトウェア保守委託。	141

収 税 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. コンビニ収納経費	4,819	<p>市税の納付先を増やし、利便性の向上を図るため、平成18年度に開始した軽自動車税に引き続き、市県民税と固定資産税・都市計画税のコンビニエンスストアでの収納を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアでの収納実績 <ul style="list-style-type: none"> 収納件数 44,234件 収納金額 624,582,774円 ・収納代行手数料 2,713,016円 電話回線使用料 291,659円 電算システム保守委託料 1,814,400円 	141
2. 徴収管理一般経費	32,056	<p>高額滞納者等の整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、徴収率の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> 移管件数 60件 移管総額 71,062,005円 ・負担金 12,084,000円 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 均等割額 100,000円 処理件数割額 8,400,000円 (140,000円×60件) 徴収実績割額 3,584,000円 (前々年度徴収実績の10%) 	141

(款) 2. 総務費 (項) 7. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予算現額 30,566 千円
決算額 30,118 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				30,118

監査委員事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 工事等技術調査委託経費	54	<p>随時監査として工事監査を3件実施した。監査の執行にあたっては、専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。</p>	147

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,321,331 千円
 決算額 1,294,347 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
47,167	344,367	57,900	27,629	817,284

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 福祉ボランティア育成事業負担金	9,358	ボランティア活動事業を推進するため、伊勢市社会福祉協議会が実施するボランティアコーディネーターの配置等福祉ボランティア育成事業に対し支援し、地域住民の福祉ニーズに応じたボランティア団体活動への支援、育成の拡充を図った。	149
2. 民生委員協議会補助金	11,387	各地区民生委員・児童委員の研修活動及び地域住民における要保護者や老人・母子家庭・身体障がい者などの生活実態を把握するとともに、適切な相談・助言・指導などの福祉活動を行った。	149
3. ふれあいのまちづくり事業補助金	6,056	地域にふさわしい福祉サービスを推進していくため、伊勢市社会福祉協議会が実施する事業に対し補助し、相談事業の充実や社会福祉施設との連携、民生委員・ボランティアなど様々な人々が交流して住民が共に支え合う地域社会づくりを図った。	149
4. 地域福祉計画策定事業	2,107	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指し、市民の意見を反映させた地域福祉計画を策定した。	149
5. 福祉健康センター施設改修事業	50,391	福祉健康センターの空調設備について、21年度及び22年度で改修を行い、利用者の安全と快適な利用の確保に努める。また、窓ガラスに断熱フィルムを貼り、冷房負荷を軽減し、消費電力及びCO2の削減に努めた。	149
6. 婦人相談員設置事業	2,208	婦人相談員を設置し、女性の福祉全般にわたる人権尊重と生活の安全と自立を支援し、女性の福祉向上を図った。 (平成21年度実績) 相談件数 実人員84人 延べ298件	149

二見総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	14,958	地域の高齢者や市民に対し、各種の相談業務や健康増進事業及び教養娯楽等のための便宜を図り、明るく生きがいのある生活支援の場として貸し出し施設の維持管理を行った。	149

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター 等管理事業	976	地域の老人をはじめとする住民の教養の向上及びレクリエーション等を行うコミュニティの場として設置された施設で、小俣町商工会、度会教育会館とで合同会館の施設維持管理にあたった。	149
2. 保健福祉会館管理 事業	12,804	小俣管内を6地区に分け各々に保健福祉会館を設置し、地域の老人をはじめとする住民の健康増進・教養の向上及びレクリエーション等の場とした。	149

御菌総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ハートプラザみそ の等管理事業	24,790	地域の福祉活動、健康増進、文化・教養の高揚など市民の活動拠点施設として利用された。 年間利用者延人数 60,767人	149

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 1,477,173 千円
 決算額 1,409,696 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
609,494	313,965		44,226	442,011

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者地域生活支援事業	68,144	<p>障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、地域生活支援事業を実施した。</p> <p>1. 障害者地域生活相談支援事業 伊勢市と度会郡の4町が設置している伊勢・度会地区障害者相談支援センター「プレス」の運営を社会福祉法人に委託し、家庭訪問、来所・電話による相談を受け付け、障がい福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を実施した。 委託先 社会福祉法人三重済美学院</p> <p>2. 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がい者（児）等に対し、特殊寝台、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。 給付件数 1,935件</p> <p>3. 身体障害者情報保障事業 (1) 手話通訳設置事業 手話通訳者を窓口に設置する事により、コミュニケーションがスムーズになり、聴覚障がいのある方の社会参加の促進を図った。 窓口対応件数 194件 (2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣する事により、聴覚障がいのある方の社会参加の向上を図った。 手話通訳者派遣件数 58件 要約筆記者派遣件数 34件 (3) 手話奉仕員養成事業 手話のできる人を増加することにより、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図った。（奉仕員：コミュニケーションがとれるもの） 手話奉仕員養成講座入門課程40名受講（20名×2会場） 手話奉仕員ステップアップ講座7名受講 (4) 点字広報・声の広報発行事業 広報を点訳及び音訳することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。</p>	151

2. 障害者外出支援事業	5, 552	<p>1. 重度障害者タクシー料金助成事業 在宅の重度障がい者に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 タクシー券利用枚数 8, 135枚</p> <p>2. 重度身体障害者リフトタクシー助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 リフト付タクシー券利用枚数 488枚</p>	151
3. 障害者福祉運営対策経費	154, 559	<p>1. 身体障害者デイサービス事業 在宅生活を送る身体障がい者が社会適応訓練や創作活動等を行うデイサービス事業の運営を社会福祉協議会へ委託した。 (1) 身体障害者福祉センターデイサービス運営費 (パソコン教室等) 実利用人数 63人 利用回数 1, 042回 (2) 重度身体障害者デイサービス運営費(くじら) 実利用人数 23人 利用回数 2, 534回 給食 2, 496回 入浴 366回</p> <p>2. 身体障害者福祉センター運営委託事業 身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を委託した。</p> <p>3. 障害者自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 助成団体 11団体</p>	151
4. 障害者啓発事業	170	<p>12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。</p>	151
5. 障害者手当等給付事業	61, 193	<p>在宅で重度の障がいのある人などに対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。</p>	151
6. 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業	27, 758	<p>利用者が通所サービスを利用しやすくするため、送迎サービスの利用に係る利用者負担の軽減を図った。グループホーム等の設置を実施する事業所に対し施設整備費補助を行い、グループホーム等の整備を促進した。 また、視覚障がいのある人等に対する情報バリアフリーを一層促進するため、点字プリンタを整備し、視覚障がいのある人等への情報支援の充実を図った。</p>	151
7. 障害者通所等支援事業	3, 663	<p>通所訓練施設等通所者の障害者自立支援法に基づく利用者負担金の一部を助成することで、福祉サービスの利用を促進し、障がい者福祉の推進を図った。</p>	153
8. 障害者小規模作業所対策事業	52, 346	<p>1. 小規模授産所運営事業 在宅の障がいのある人の社会的自立と社会参加を促進するため、小規模作業所の運営を委託又は補助を行い、福祉の増進を図った。</p> <p>2. 小規模作業所入所負担金 市外の小規模作業所へ通所する障がいのある人について、その入所経費を設置する市町へ負担することにより福祉の増進を図った。</p>	153

9. 障害者介護給付等 事業	985,220	障害福祉サービスの利用について、介護給付費及び訓練等給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	153
10. 障害程度区分認定 事業	6,961	障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービスの支給決定に必要な認定調査員による訪問調査等を実施した。 また、障害者自立支援法及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を通じ、障害程度区分認定等に係る審査業務を行った。 (1) 調査件数 286件 (2) 審査会判定件数 258件	153
11. 補装具費支給事業	17,651	失われた身体機能を補うための補装具費（購入及び修理）の支給を行い、日常生活や社会生活の向上を図った。 購入及び修理延べ件数 259件 (内訳 購入139件 修理120件)	153
12. 身体障害者医療給 付事業	26,209	身体障害者の障がいを軽減したり取り除くなど、身体障害者の更生に必要な医療費の軽減を図った。 診療延べ件数 385件	153

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 698,371 千円
決算額 681,406 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	268,202			413,204

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者医療費支給 事業	238,826	身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 229,311千円 (1) 延人数 19,957人 (2) 延件数 50,209件 2 証明書料の助成 9,515千円 (うち郵送料 583) (1) 延件数 44,661件	153
2. 65歳以上障害者 医療費支給事業	156,275	後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 156,275千円 (1) 延人数 21,354人 (2) 延件数 56,324件	153

3. 乳幼児医療費支給 事業	165,936	義務教育就学前までの乳幼児で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、小学生の入院医療費を助成した。 1 医療費の助成 149,009千円 (1) 延人数 43,291人 (2) 延件数 87,082件 2 証明書の助成 16,927千円 (1) 延件数 84,634件	153
4. 一人親家庭等医療 費支給事業	74,833	母(父)子家庭の親及び子、または父母のいない子で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 1 医療費の助成 69,366千円 (1) 延人数 14,836人 (2) 延件数 28,298件 2 証明書の助成 5,467千円 (1) 延件数 27,337件	153
5. 寡婦医療費支給事 業	18	配偶者と死別し、かつて20歳未満の方を扶養していた、現在婚姻状態にない60歳以上70歳未満の女性で、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。 1 医療費の助成 17千円 (1) 延人数 3人 (2) 延件数 3件 2 証明書の助成 1千円 (1) 延件数 3件	153

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 心身障害児通園施設費

(単位 千円)

予算現額 36,612 千円
決算額 36,435 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			16,117	20,318

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運 営事業	10,843	障がいをもつ児童に通園による機能回復訓練・言語訓練・音楽療養・療育指導等を行い、その育成を図った。 発達療育 延べ 981人 言語訓練 延べ 483人 感覚運動遊び 延べ 840人 相談 延べ 212人	155
2. おおぞら児童園管 理事業	2,549	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	155

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 3,138,847 千円
 決算額 3,099,001 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
67,274	166,210	72,100	72,265	2,721,152

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設等建設補助金	50,407	介護保険事業計画に基づき、法人が行う高齢者福祉施設の面的整備と消防法施行令改正に伴い、小規模施設が行うスプリンクラー設置整備に対して補助を行った。 ○面的整備 補助件数 1件 (平成22年度へ一部繰越) ○スプリンクラー設置整備 補助件数 8件	157

長寿課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生きがい活動支援通所事業	7,738	在宅の高齢者で、介護保険で「自立」と認定された者、又は自立とみなされる虚弱な者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	155
2. 外出支援サービス事業	6,973	65歳以上のねたきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両(リフト付タクシー等)の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。	155
3. 軽度生活援助事業	580	老衰・心身の障がい及び傷病等の理由により日常生活の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、高齢者の在宅での生活の継続を可能にするるとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	155
4. 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業	74	老衰・心身の障がい及び傷病等の理由により寝具類等の衛生管理が困難な高齢者に対して、寝具類等の洗濯・乾燥・消毒のサービスを提供することにより、高齢者の心身のリフレッシュ及び衛生状況の向上を図った。	155
5. 訪問理美容サービス事業	60	老衰・心身の障がい及び傷病等の理由により、理容店や美容院に出向くことが困難な高齢者に対して、居宅で理美容サービスが受給できることにより、高齢者の心身のリフレッシュを図るとともに在宅生活の向上を図った。	155
6. 緊急通報体制等整備事業	8,178	65歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者等に対し緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。	155

7. 老人乗合バス運賃 助成事業	21,432	75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券（100円×40枚の回数券）を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。 交付者数 9,488人	155
8. 老人クラブ補助金	12,594	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。また、伊勢市老人クラブ連合会が行う健康づくり事業に対し助成を行った。 単位老人クラブ助成金 8,122千円 単位老人クラブ重点配分予算分 509千円 伊勢市老人クラブ連合会助成金 3,443千円 健康づくり事業 520千円	157
9. 敬老金支給事業	12,676	市内に在住する年度末時点で77歳、88歳、99歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老金を贈呈した。 77歳 5,000円 1,546人 88歳 10,000円 451人 99歳 10,000円 29人	157
10. 老人ホーム入所措置事業	238,770	おおむね65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。 延べ措置人員 養護老人ホーム 1,618人	157
11. 万亀会館施設整備補助金	105,927	平成20年度に改築を行った万亀会館の旧施設の解体工事及び介護予防・高齢者の健康づくりのために同施設の屋外に整備した健康ひろばの整備工事に係る経費について補助を行った。	157

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営事業	3,336	地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会（6館）において計画する事業の実施、及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。	157

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 637,482 千円
決算額 598,905 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
89,527	182,445	55,100	14,990	256,843

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担金	2,000	過疎地域の利便を図り、児童送迎に対する地域格差を解消するため、社会福祉法人一宇郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	159

2. 家庭相談員設置事業	2, 220	福祉事務所内に家庭児童相談室を設置し、家庭相談員（常勤嘱託）を配置して、家庭における児童養育に関する種々の問題についての相談・指導を行った。 平成21年度相談受理件数：67件	159
3. 子育て支援短期利用事業	99	出産、病気等の緊急一時的な理由があるとき、児童養護施設で児童を保護し、経済的理由等で一時的に保護が必要となった母子を母子生活支援施設で保護するため、3施設で事業を実施した。 延べ利用日数 17日	159
4. 乳幼児健康支援一時預り事業	10, 492	病気回復期にある児童を集団保育が困難である間、専用スペースで預かることにより保護者の子育てと就業の両立支援を行った。 延べ利用人数 306人	159
5. ファミリーサポートセンター事業	8, 442	児童福祉の向上と、保護者の仕事と家庭の両立支援を目的として、会員相互の信頼と了解の上で、一時的に児童を預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営の充実を図った。 年度末会員数 374人 活動件数 2, 592件	159
6. 次世代育成支援対策事業	2, 436	伊勢市次世代育成支援対策推進協議会を開催し、次世代育成支援行動計画（前期行動計画）の推進を図った。また、前期行動計画を見直して後期計画（計画期間 平成22年度～26年度）を策定した。 開催日：平成21年5月28日、9月7日、10月5日、11月9日、平成22年2月1日、3月29日	159
7. 放課後児童対策事業	40, 710	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均利用児童数 320人	159
8. 放課後児童クラブ整備補助金	13, 895	放課後児童クラブの開設に伴い、その施設整備と活動に要する備品等を整備するための経費を助成することにより、放課後児童クラブの円滑な運営と児童の健全育成の向上を図った。 対象箇所数 3箇所	159
9. 一般保育事業補助金	44, 750	公立保育所職員と民間保育所職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所に対し補助した。 民間保育所 14箇所	161
10. 低年齢児保育推進事業補助金	5, 900	0・1歳児にゆとりのある保育を実施することにより、児童の心身の発育発達を一層促すため、延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、0・1歳児が定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上入所している保育所で、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。 民間保育所 5箇所 対象児童 延べ1, 250人	161
11. 延長保育促進事業補助金	38, 412	通常の保育時間を超えて長時間保育（9時間以上）を実施している保育所に対して、職員の加配及び処遇改善を図るために要する経費を補助した。 民間保育所 13箇所 うち国交付金対象（11時間以上）4箇所	161

12. 地域活動事業補助金	3, 236	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所 13箇所	161
13. 障害児保育事業補助金	12, 842	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童を受け入れている保育所で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所 9箇所 対象児童 (中度) 7人 (重度) 6人	161
14. 休日保育事業補助金	1, 257	日曜・祝日等に保育を行う民間保育所に対して、その事業経費を補助した。 民間保育所 1箇所	161
15. 民間保育所施設整備事業費補助金	190, 871	保育ニーズが高い小俣地区に保育所を開設する社会福祉法人に対し、施設整備費の一部を補助した。 社会福祉法人 2箇所	161
16. 児童虐待防止事業	163	児童虐待の未然防止及び早期発見・早期対応をめざし、「伊勢市子ども家庭支援ネットワーク」(要保護児童対策地域協議会)を設置して関係機関の連携強化を図った。また、市民への意識啓発活動を行った。	161
17. 子育て応援特別手当支給事業	64, 224	平成21年2月1日において、平成2年4月2日～平成17年4月1日生まれの児童が2人以上いる世帯のうち、第2子以降である平成14年4月2日～平成17年4月1日生まれ(平成20年度において、小学校就学前3年間)の児童を支給対象とし、支給対象児童1人当たり36,000円を世帯主に支給し、子育て支援の強化を図った。 ・支給対象となる子の数 1,784人 ・子育て応援特別手当 64,224千円	161

二見総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 放課後児童対策事業	13, 438	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 90人	159

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 放課後児童対策事業	27, 255	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 118人	159

御菌総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 放課後児童対策事業	12,243	昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等に対し、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 毎月初日の平均登録児童数 82人	159

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 1,887,545 千円
決算額 1,862,296 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
693,160	380,903		255,857	532,376

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童手当支給事業	917,130	12歳到達後最初の3月31日までの間にある児童を監護し、かつ定められた所得以下である者に児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。 ・被用者児童手当 247,740千円 ・非被用者児童手当 65,940千円 ・特例給付児童手当 4,330千円 ・被用者小学校修了前特例給付 456,325千円 ・非被用者小学校修了前特例給付 142,795千円	161
2. 児童入所施設措置事業	12,792	○母子生活支援施設入所経費 18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉にかかる母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。 利用世帯及び入所期間 5世帯 平成21年4月～平成22年3月 ○助産施設入所経費 保健上助けが必要であるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置し、保健の向上を図った。 利用件数 4件	161
3. 民間保育所児童保育事業	932,374	民間保育所運営費を支弁した。 (国庫負担金基準による) 民間保育所 14箇所 延べ児童数 14,691人	161

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 522,256 千円
 決算額 519,064 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
173,160			12	345,892

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 母子自立支援員事業	2,339	母子自立支援員を設置し、母子家庭等及び寡婦の相談に応じ、その自立に必要な情報提供及び指導を行うとともに母子寡婦福祉資金貸付に係る業務を行った。 相談件数 410件 貸付利用件数 15件	163
2. 母子福祉事業補助金	151	母子家庭及び寡婦の生活の安定と向上を図るため、団体が実施する母子家庭の生活支援及び自立支援等の事業の費用を補助を行った。 補助団体数 1件	163
3. 自立支援教育訓練給付金事業	51	雇用保険制度の教育訓練講座を受講した母子家庭の母に対し、講座終了後に、受講料の一部を助成した。 助成件数 3件	163
4. 児童扶養手当支給事業	516,277	父親と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、受給者に対し児童扶養手当を支給した。 受給者数 1,089人 全額支給停止者 199人 (平成22年3月31日現在)	163

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,604,226 千円
 決算額 1,546,299 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,025	20,049	9,100	324,648	1,190,477

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 臨時保育士等経費	340,185	正規職員の不足を臨時職員等で補った。 ・嘱託保育士 104人 ・嘱託看護師 16人 ・嘱託・臨時調理員 11人 ・嘱託業務員 16人 ・パート保育士 6人	163
2. 入所児童処遇経費	146,820	公立保育所の入所児童の健全な育成と円滑な保育所運営を図った。 市立保育所 14箇所・延べ 17,941人	163
3. 低年齢児保育推進事業	4,195	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上0・1歳児が入所している保育所において0・1歳児に対して国の基準を超えて保育士を配置した。 市立保育所 2箇所・対象児童 延べ523人	163

4. 保育所地域活動事業	2, 265	公立保育所全施設において、地域住民が主体的に子育てに関われるようにし、多世代の交流を促進した。 市立保育所 12箇所	163
5. 地域子育て支援センター事業	51, 176	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、明倫保育所 二見浦保育園、小俣子育て支援センター	163
6. 障害児保育事業	55, 352	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士を加配した。 市立保育所 12箇所 対象児童 (中度) 19人 (重度) 12人	163
7. 延長保育促進事業	7, 720	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所	163
8. 休日保育事業	3, 232	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所	163
9. 一時保育促進事業	8, 876	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 保育所きらら館、小俣子育て支援センター	163
10. 市立保育所施設維持補修経費	7, 571	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を維持補修し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 14箇所	163
11. 研修等参加経費	166	市立保育所職員の資質向上を図るため、各種研修を受講した。 三重県保育総合研修会 東海北陸保育研究大会 北信越・東海地区主任保育士研修会	163
12. 市立保育所管理運営経費	54, 210	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を運営管理し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 14箇所	163
13. 市立保育所施設整備事業	19, 541	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。 二見浦保育園空調設備改修工事 浜郷保育所フェンス改修工事 浜郷保育所汚物流し及び給湯引込み工事 御菌第一保育園配膳室空調機増設工事 浜郷保育所調理室改装工事 二見浦保育園暖房機器撤去工事 二見浦保育園2歳児保育室床改修工事 二見浦保育園遊具及びフェンス設置工事 二見浦保育園保育室床改修工事 さくらぎ保育所シロアリ駆除及び床改修工事 御菌第一保育園床改修工事 市立保育所緊急地震速報システム整備	165

14. 四郷地区認定こども園施設整備事業	9,977	四郷地区に開設する認定こども園施設整備のため、設計業務委託等を行った。 四郷地区認定こども園設計業務委託 四郷地区認定こども園建設に伴う地質調査業務委託 四郷地区認定こども園施設整備事業に伴う不動産鑑定評価業務 建設用地取得	165
-------------------------	-------	--	-----

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 5. 児童館費

(単位 千円)

予算現額 51,128 千円
決算額 49,878 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,127		200	38,551

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童館管理運営事業	7,706	遊びを通じた交流により他者とのかかわり方を学び、また遊びの中での助言指導を行うことにより児童の健全育成を図った。 対象施設数 1館 (中央児童センター) 年間利用延人数 19,381人	165
2. 地域児童館管理運営事業	18,308	児童センターを利用する児童に遊びや運動等の指導を行い、児童の健全育成を推進した。 対象施設数 2館 (あさま・黒瀬児童センター) 年間利用延人数 9,306人	165
3. 民間児童館運営事業補助金	10,138	児童の健全育成を図るため、民間児童館運営が円滑に行われるよう助成した。 対象施設数 1館 (明照児童館) 年間利用延人数 16,875人	165

小俣総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童館管理運営事業	8,807	遊びを通じた交流により他者とのかかわり方を学び、また遊びの中での助言指導を行うことにより児童の健全育成を図った。 対象施設 2館 (小俣、明野児童館) 年間利用延人数 7,323人	165

御菌総合支所 福祉健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童館管理運営事業	4,919	遊びを通じた交流により他者とのかかわり方を学び、また遊びの中での助言指導を行うことにより児童の健全育成を図った。 対象施設数 1館 (こども広場) 年間利用延人数 7,219人	165

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 68,879 千円
 決算額 66,884 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
64	25,004			41,816

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	1,059	伊勢市人権施策推進協議会と協力して、人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、市内小中学校の児童生徒を対象とした人権尊重啓発ポスター募集事業や人権セミナーの開催など、市民の人権意識の高揚に努めた。	167

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 697,348 千円
 決算額 671,221 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
49,704	47,390	42,600	9,512	522,015

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	36,684	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 512千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 34,926千円(実績割100%) 建設経費 1,246千円(平等割)10%人口割90%	169
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	224,389	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,937千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 200,189千円(実績割100%) 建設経費 14,873千円(平等割10%人口割90%) 公債費 6,390千円(元利補給金)	169
3. 生活排水対策啓発事業	593	各家庭における生活排水対策の啓発活動の推進により、市民の生活排水対策意識の高揚と公共用水域の水質保全を図った。	169
4. 狂犬病予防事業	597	狂犬病予防法に基づき、獣医師会と協力して、畜犬登録受付と狂犬病予防注射を行った。 畜犬登録件数 601頭 狂犬病予防注射受付件数 5,807頭	169
5. 環境審議会経費	320	伊勢市環境基本計画の策定にあたり、新たな課題や社会情勢等の動向を考慮の上で、環境保全について提言いただいた。 平成21年度審議会委員19人、審議会開催数4回	169
6. 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	145,752	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、小型合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 公共下水道認可区域外 353基 142,172千円 公共下水道認可区域内 30基 3,580千円	169
7. 家庭用新エネルギー普及推進事業	4,800	新エネルギーの導入促進および普及啓発のため、家庭用太陽光発電システム設備設置者に対し補助金を交付した。 平成21年度実績 太陽光発電設備 80件	169
8. 放置自動車対策経費	6	伊勢市放置自動車の発生の防止及び適正処理に関する条例に基づき、市道、公園等の放置自動車を適正に処分した。 平成21年度処分台数 1台	171
9. 犬猫不妊手術費等補助金	1,652	犬猫の適正飼育を図るため、市の要綱に基づき不妊手術費の一部助成を行った。 平成21年度補助件数 犬182匹 猫325匹	171

10. 環境リサイクル フェア等開催事業	452	環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市民の理解と協力を得るため、環境フェアを開催した。 日時 平成21年10月11日 開催場所 三重県営サンアリーナ 主催 伊勢市まちづくり市民会議環境分科会 伊勢市ごみ問題市民会議 伊勢河川海域環境美化推進協議会 伊勢市	171
11. 各種計画策定事業	5,040	新市における環境分野の最上位計画として施策指針や地域特性に応じた環境配慮方針などをまとめた「伊勢市環境基本計画」を策定した。	171

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営 事業	8,403	地域住民の福祉の充実及び向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行い、毎月4回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成21年度利用者数 40,192人	171

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 779,017 千円
決算額 725,152 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	626		45,717	678,809

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一次救急医療事業	4,561	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう周知に努めた。	171
2. 病院群輪番制病院 運営費補助金	31,044	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(市立伊勢総合病院、山田赤十字病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。 平成21年度は16,832人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	171
3. 健康文化都市推進 事業	1,642	生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針に基づき生活習慣病予防を中心に健康づくり活動を推進した。また、健康文化週間及び健康の日の啓発事業や、健康づくりアドバイザー養成講座、重点事業への取組みとして、低カロリー・バランス食のレシピ集の発行やウォーキング大会等を実施した。	171

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 241,749 千円
 決算額 191,353 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,280		75	183,998

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	191,278	全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。 新型インフルエンザ予防接種の実施に伴い、生活保護世帯・市民税非課税世帯の方に対し、費用の全額助成を行い、また、中学3年生までの課税世帯に対し、費用の一部助成を行うことにより、接種率の上昇を図り、重症化を予防した。	173

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 249,345 千円
 決算額 242,650 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,965	3,761		2,056	206,868

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	4,477	40歳以上の保険が無い方を対象に健康増進法健康診査を実施し、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	173
2. がん検診事業	231,530	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	173
3. 歯周疾患検診事業	5,287	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 1,962人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	173
4. 成人健康相談事業	580	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ108回、580人の相談を行った。	173
5. 訪問指導事業	301	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族325人に対し、生活習慣病の予防や介護予防、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	173

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 127,316 千円
 決算額 112,962 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
504	20,582		364	91,512

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	558	妊娠期、乳幼児期に各教室を実施し、妊娠・分娩・子育てに関する正しい知識の普及や子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。1, 967人の参加があった。	173
2. 発達支援教室事業	1,747	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。759人の参加があった。	173
3. 幼児歯科保健事業	2,864	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室23回 875人 ・3歳児フッ化物塗布12回 674人	173
4. 子育て相談事業	736	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域で開催し、延べ4,375人の相談に対応した。	173
5. 新生児等訪問指導事業	862	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることにより、それぞれが持っている不安、悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児921人、乳幼児556人、妊産婦907人の訪問を実施した。	175
6. 妊婦・乳児健康診査事業	86,758	妊娠中に14回及び乳児期に2回(4ヶ月、10ヶ月)計16回、県下の医療機関に委託して、健康診査を実施した。妊婦は延べ12,979(県外含む)人、乳児は延べ1,891人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	175
7. 不妊治療費助成事業	6,687	医師が必要と認めた不妊治療を受けた夫婦に対し、不妊治療費に要する費用の一部助成(費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで)を行った。 一般不妊治療56件、特定不妊治療48件に助成を行った。	175

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 36,893 千円
 決算額 26,622 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,228			3,474	10,920

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市営墓地管理一般経費	3,280	市が管理する大世古墓地及び大湊墓地について、管理及び清掃等の墓地環境の整備を図った。	175
2. 共同墓地整備事業補助金	18,528	共同墓地内の環境衛生の改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し、費用の一部を補助した。 平成21年度補助実績 12箇所	175
3. 市営墓地整備事業	3,775	市営大世古墓地内に山積みされた不要な墓石が崩れ等の危険性があるので撤去し、また、墓地と隣地との境界にフェンスを設置した。市営大世古墓地の掃除用具や修繕道具を納める物置が手狭なため新たに増設した。	175

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市営墓地管理一般経費	1,039	市が管理する小俣若山墓地・納骨堂の維持管理を行い、墓地環境の保全と管理及び使用者の利便を図った。	175

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 101,912 千円
 決算額 96,847 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
449			92,209	4,189

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 医科診療所運営事業	90,641	夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	175
2. 歯科診療所運営事業	6,206	休日の救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	175

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 3,416 千円
 決算額 3,286 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,286

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 調査事業	3,286	公害防止、環境保全を図るため、水質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、結果を広報等で周知した。	177

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 1,091,483 千円
 決算額 968,558 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,296	967,262

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	847,553	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 共通経費 6,569千円 運営経費 447,747千円 建設経費 196,982千円 公債費 194,199千円 清掃事業所分担金 2,056千円	177
2. きれいなまちづくり推進事業	605	伊勢市ごみ問題市民会議に、ごみ問題及びごみ減量・資源化対策活動の業務委託を行い、啓発活動を推進した。	177
3. 廃棄物集積所設置補助金	61,465	ごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。 ○交付申請自治会数 87自治会 ○補助金交付基数 300基 ○補助金交付額 61,465千円 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	177
4. 不法投棄防止対策推進事業	1,502	市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。 不法投棄物：テレビ218台、冷蔵庫35台、洗濯機41台、エアコン4台、タイヤ194本他	177
5. 廃棄物減量等推進審議会経費	177	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき策定する一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の検討を行った。 審議会委員：13人 審議会開催回数：5回	177

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. きれいなまちづくり推進事業	25	<p>小俣町地域において「まちをきれいにする一斉運動」を、午前8時から1時間程度、各自治区を中心にポイ捨てされたゴミを一掃するため、また、地球環境美化の一環として落ちているゴミを拾うことによって、ゴミを捨てない・汚さない心を確認しあう日として実施をした。</p> <p>日 時 平成21年5月30日(土) 実施場所 小俣町内一円 対 象 伊勢市小俣町内に住む市民 参加者 1,626名</p>	177

御菌総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. きれいなまちづくり推進事業	12	<p>ポイ捨ての禁止やごみの減量化及び資源化に対する住民の意識と地域の連帯感を高め、実践活動を促進するため、各自治会を中心に一斉清掃を実施した。</p> <p>日 時 平成21年5月30日(土) 実施場所 御菌町内一円 対 象 伊勢市御菌町内に住む市民 参加者 約570名</p>	177

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 100,850 千円
 決算額 96,543 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			62,511	34,032

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 指定袋制度運営事業	57,014	<p>ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみの指定ごみ袋制を実施した。</p> <p>○目的 1. 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進 2. 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止 3. 日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化</p> <p>○指定袋種類 3種類 (大袋45ℓ、中袋30ℓ、小袋15ℓ)</p> <p>○材質等 【材質】高密度ポリエチレン製 【色】半透明</p> <p>○販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売 (平成22年3月31日現在、販売店登録数382店舗)</p> <p>○販売価格 希望小売価格制度にて販売 市の提示する希望小売価格 大袋83円、中袋60円、小袋41円(税別)</p>	177

2. ごみ減量・資源化 推進事業	267	<p>ごみの減量及び資源化を図るため、資源化推進事業として津村団地自治会にごみ処理機を貸与し、地域住民によるごみ資源化の実証実験を行った。</p> <p>○ごみ資源化実験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ投入量 2,002kg ・取出し堆肥量 242kg ・堆肥化率 12.09% 	177
3. 再生資源回収推進 事業	16,548	<p>自治会、PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対して回収量に応じ奨励金を交付し、ごみの減量・資源化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付団体数 139団体 ・回収量 2,753t (内訳) 紙類2,634t、布類45t、 缶類73t、びん9,411本 <p>※1kg当たり6円の奨励金 びんについては、1本当たり3円の奨励金</p>	177
4. ごみ減量化容器設 置補助金	3,470	<p>生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交付申請件数 137件 ○補助金交付基数 139基 ○補助率 購入額の1/2(限度額30千円) 	179
5. 資源回収ステー ション推進事業	11,329	<p>家庭から生じた資源物の保管困難な状況を解消し、ごみの減量・資源化を更に推進するために、資源拠点ステーション(二見、小俣、御菌)を設置した。また、磯町に地元自治会が管理運営を行う地域資源回収ステーション等を設置した。</p>	179
6. ごみ減量・資源化 事業一般経費	7,915	<p>ごみ収集日、ごみの分け方・出し方等の啓発内容を合わせて記載した「平成22年度版ごみカレンダー」を広報いせ3月1日号と同時に全戸に配布した。(22年度版作成部数合計61,000部)</p> <p>なお、平成21年度版まで、旧伊勢市版、二見町版、小俣町版、御菌町版で分けて作成していたが、一冊にまとめて作成した。</p>	179

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 930,712 千円
決算額 922,384 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,000		43,100	7,457	840,827

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 廃棄物投棄場管理 一般事業	4,977	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、市民から搬入されたガレキ類(ブロック、レンガ、瓦、コンクリート)の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。</p>	179

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 清掃事業所改修事業	1,389	<p>清掃事業所は昭和50年に建設後、30年以上が経過しており、著しく老朽化している。安全衛生上支障があるため年次的に改修・修繕等を行っている。平成21年度については、外装改修工事及び車両出入口カーブミラーの設置工事を行った。</p> <p>○改修箇所 外装(樋 5箇所、フェンス 34.4m) カーブミラー 1基</p>	179
2. 再資源分別回収事業	149,751	<p>ごみの減量・資源化のため、資源びん(無色、茶色、その他の色)、紙・布類(新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類)、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。</p> <p>○ステーション設置状況</p> <p>【旧伊勢市内】 ・資源ステーション 約880箇所 ・ガラス類・陶磁器類回収場所 約400箇所 ・資源拠点ステーション 16箇所 (内訳)伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、東豊浜、いせトピア</p> <p>【二見町地区】 ・資源ステーション 34箇所</p> <p>【小俣町地区】 ・資源ステーション 61箇所</p> <p>【御園町地区】 ・資源ステーション 16箇所 ・資源びん、ガラス類、陶磁器類、ペットボトル回収場所 12箇所</p>	179
3. じん芥収集車購入事業	76,914	<p>耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図っている。平成21年度については、地球に優しい低炭素社会に向けたクリーンエネルギー自動車(ハイブリッド車)を購入した。</p> <p>○購入車両 4tパッカー 2台 3tパッカー 6台</p> <p>○収集車両台数 計55台</p>	179

二見総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 廃棄物投棄場管理一般事業	331	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類(ブロック、レンガ、瓦、コンクリート)の埋め立て施設の適正な処理を行った。</p> <p>○年間搬入量 19,650kg</p>	179

小俣総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 廃棄物投棄場管理 一般事業	10,593	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、ガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の埋め立て後に覆土を行い、環境保全の推進と適正な処理及びを廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。</p> <p>【平成21年度実績】 ○年間搬入量 223,530kg</p>	179

御菌総合支所 生活環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 廃棄物投棄場管理 一般事業	472	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、市民から搬入されたガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。</p> <p>○年間搬入量 164,080kg</p>	179

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 73,822 千円
 決算額 71,562 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,628		900	12,554	47,480

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 若年求職者等支援事業	1,236	若年求職者を対象にカウンセリングを含む就職個別相談を実施したほか、いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年無業者を支援するネットワークを構築するなど、若者の早期就職支援に努めた。	179
2. 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金	23,912	(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。 この団体は、中小規模の事業所単独では実施が困難な福利厚生事業を提供することを目的として、平成11年4月に事業を開始した。主な事業は、慶弔給付などを行う生活安定事業、健康診断の斡旋・補助を行う健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催・提携施設の割引利用あっせん・各種チケットあっせんを行う余暇活動事業、教養文化講座の開催及び参加補助を行う自己啓発事業である。	181
3. 勤労者ふれあい事業	1,500	(社)伊勢志摩勤労者福祉協議会等と共催で、'09勤労者ゆとりフェスティバルを10月11日に県営サンアリーナを会場に開催した。 当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人が参加し、ゆとりと豊かさを実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	181
4. 高齢者労働能力活用事業費補助金	18,743	高齢化社会が急速に進むなかで、多様化する高齢者の就業ニーズに対応するため、臨時的、短期的な就業及び生きがい対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	181
5. 高齢者生活援助サービス事業費補助金	2,375	シルバー人材センターの会員が、高齢者・障がい者及びその家族に対し、「伊勢市軽度生活援助事業」等の高齢者生活援助サービスを提供するにあたり、事業内容を検討する専門職員が必要となるため、これに係る人件費及び研修費・連絡調整などへの経費補助を行った。	181
6. サンライフ管理運営事業	6,034	勤労者を対象とした趣味づくり、健康づくり講座を開催することで、心身の健康保持、体力増強及び教養文化の向上に寄与するとともに、趣味づくり教室作品発表会を開催し、サンライフ伊勢の趣味づくり教室の活動を広く市民に周知・啓発した。 平成18年9月より指定管理者制度に移行している。	181
7. 労働福祉会館管理運営事業	1,108	伊勢市労働福祉会館運営委員会を開催し、県庁舎建替えに伴う移転の問題等について検討・協議したほか、新労働福祉会館の改修設計業務を委託した。	181
8. やすらぎ公園プール管理運営事業	9,495	やすらぎ公園プールを管理運営し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上に寄与した。	181

9. 勤労者持家促進資金貸付金	5,000	市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。	181
10. 勤労者教育資金貸付金	1,690	市内に居住する勤労者とその扶養親族の教育資金について、東海労働金庫の貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで、勤労者の負担を緩和し、教育の充実を図った。利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。	181

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 2. 緊急地域雇用対策事業費

(単位 千円)

予算現額 44,904 千円
決算額 44,309 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	44,309			

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 治安・防災関連雇用対策事業	2,993	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、防犯灯等の設置場所等をデータ化し、位置図及び台帳の作成業務を行った。 ・防犯灯等台帳作成(一式) ・防犯灯等位置図作成(一式) 【新規雇用創出のべ人数: 3人】	181

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農林漁業関連雇用対策事業	5,450	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、遊休農地の調査、林道の安全確保、防風林の機能維持保全等、農林業関連事業を実施した。 【新規雇用創出のべ人数: 8人】	181

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光関連ふるさと雇用再生事業	10,961	地域の雇用再生のため、地域求職者等を雇い入れて実施する事業として、次の2事業を実施した。 (1) 観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業 市内最大の観光地「おはらい町」で災害発生時に観光客、従業員および住民がスムーズに避難するためのマニュアル作成の基礎調査業務として来訪者等の情報整理、詳細調査及びワークショップを開催した。 【新規雇用創出のべ人数: 4人】 (2) 伊勢市観光推進事業 観光客誘致の推進のため、市内の観光情報を総括する地元密着型のホームページを作成した。 【新規雇用創出のべ人数: 2人】	181

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 環境関連雇用対策事業	566	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、伊勢市宇治山田港旅客ターミナルの適切な維持管理をするための緑地部分の草刈業務及び施設の施錠管理等の業務を「観光関連雇用対策事業」と併せて実施した。</p> <p>草刈業務 537,600円 施設管理業務 1,340,850円 【新規雇用創出のべ人数:6人】</p>	181
2. 観光関連雇用対策事業	1,313	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、伊勢市宇治山田港旅客ターミナルの適切な維持管理をするための緑地部分の草刈業務及び施設の施錠管理等の業務を「環境関連雇用対策事業」と併せて実施した。</p>	181
3. 産業振興関連雇用対策事業	474	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、コミュニティバスに関する意見、要望等を広く集めるため、バス利用者にアンケートを実施し、今後のバス事業に反映するための調査を行った。</p> <p>アンケート配布数 639 うち回収数 291 【新規雇用創出のべ人数:5人】</p>	181

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 治安・防災関連雇用対策事業	1,826	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、「名勝二見浦」の繁忙期である8～11月の4ヶ月間（実施期間：平成21年8月5日～11月30日）、二見浦公園周辺の交通案内ほか業務を委託することにより、地域の安全確保、渋滞の緩和、観光客の利便性向上を図った。</p> <p>【新規雇用創出のべ人数:5人】</p>	181

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育・文化関連雇用対策事業	3,169	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、日本語支援が必要な外国人児童生徒に対して、日本語指導や授業の補助など学習面でのサポート、母国と日本の文化や生活習慣の違いについて理解を深めるための生活相談、学校と保護者との連絡が円滑に行えるように通訳等を行い保護者の理解を深めるなど、学校生活の支援を行った。</p> <p>【新規雇用創出のべ人数:4人】</p>	181

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育・文化関連雇用対策事業	9,342	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、ハートプラザみその児童館図書室及び二見公民館図書室所蔵図書のデータ化とブックコーティング、傷んだ図書の廃棄等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ化図書冊数 14,721冊 <p>【新規雇用創出のべ人数:5人】</p>	181

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育・文化関連雇用対策事業	4,603	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、旧市川造船所資料(船具資料)の調査・整理作業(資料の清掃、分類、写真撮影、カード作成、データ入力)を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査点数 4,389点 ・作成カード数 1,344枚 <p>【新規雇用創出のべ人数:5人】</p>	181

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 治安・防災関連雇用対策事業	3,612	<p>失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、市内中心部約1万8千世帯を対象に住宅用火災警報器の設置状況調査及び普及啓発を行うとともに、消防法改正に伴う防火対象物台帳の項目変更及び規制内容変更に伴うデータの更新を行った。</p> <p>【新規雇用創出のべ人数:4人】</p>	181

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 199,323 千円
 決算額 198,727 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				198,727

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合負担金	34,970	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。	183

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 16,406 千円
 決算額 14,904 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	454		2,064	12,386

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若い農業者育成確保推進事業	474	次代の担い手育成確保に資するため、小学生を対象とした田植え・稲刈り等を体験する農業体験学習会を開催した。	183
2. 農業経営基盤強化促進事業	184	優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。 認定農業者件数 105件 (平成22年3月末現在)	183
3. 農業近代化資金等利子補給補助金	1,031	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	183
4. 遊休農地活用事業	620	近隣農地へ悪影響を与えるなどの遊休農地を解消、活用するために、草刈り、耕起、菜種等の作付等を行い、景観形成や農地として再活用する取組を行った。	183
5. 農業やってみませんか事業	350	農業の担い手不足が深刻になる中で、より多くの意欲ある人材の発掘が必要であるため、セミナー及び農業技術習得講座を開催し、定年退職者等で野菜作りに興味がある方が、野菜栽培への理解を深める一助とした。	183
6. 生産調整推進対策事業	2,504	米穀の需給と価格の安定を図るため、地域水田農業ビジョンの実現に向け、生産調整実施状況の確認等を伊勢市水田農業推進協議会へ委託し、事業を推進した。	185
7. 農業振興地域整備促進経費	200	農業振興地域整備計画の適正な運用を図るため、農業諸情勢の変化、地域の土地利用の動向を踏まえ、地域の活性化に向けた適切で有効な土地利用との調整を図り、農用地の見直しを行った。	185

8. 農業振興補助金	4,215	生産者で組織する農協各部会が行う技術向上対策等の活動経費、及び資本整備にかかる経費に対して、補助金を交付し、経営の安定、効率化を支援し、地域農業の活性化、持続的発展を図った。また、市の天然記念物として親しまれている蓮台寺柿の保存育成を推進し、栽培農家の振興と経営の安定を図った。	185
9. 横輪地区活性化事業	2,000	高齢者の生きがいづくりや地域に在住する若者のコミュニティ運営への参画を促す活動に対して支援を行い、農山村地域の活性化を図った。	185
10. 地産地消推進事業	1,413	地元食材を取り扱う店を「地産地消の店」と認定し、周知することで、地域の農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。また、学校給食用米「みえのえみ」の作付拡大、学校給食記念日に地元農産物の提供を行い、地産地消を啓発した。	185
11. 特色ある農産物づくり支援事業	250	有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	185
12. 産直市支援事業	1,197	新鮮で安全な農作物を消費者に提供し、消費者との交流による中心市街地の活性化及び地域農業の振興へ繋げるため、中心市街地での農業者団体による産直市施設の運営を支援した。	185

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 102,426 千円
決算額 98,754 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,490	1,669		53,700	33,895

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	49,835	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合 ・開館日数 310日 ・来客人数 119,195人	185
2. 伊勢市都市農山村交流促進施設維持管理経費	2,394	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。 ・指定管理者 横輪町活性化委員会 ・開館日数 269日 ・来客人数 18,741人	185
3. 農地・水・環境保全向上対策事業	15,951	農業の持つ多面的機能の適正な発揮のため、農業者・非農業者の地域ぐるみでの保全向上活動を促進し、国・県と共に支援を行った。 活動実施組織 21組織	185

4. 管理体制整備強化 支援事業補助金	1,398	国営で造成した土地改良施設（頭首工、揚水機、用水路等）に対する国の助成制度で、多面的機能の発揮及び高度化に対応した適切な管理体制整備のため、宮川用水受益市町1市4町が負担することにより管理強化を図った。	185
---------------------------	-------	---	-----

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,391 千円
決算額 3,391 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,391

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 松阪食肉公社施設 維持管理対策補助 金	3,383	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、主要株主により支援を行った。	187

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 415,808 千円
決算額 270,471 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
73,459		111,400	16,560	69,052

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 土地改良事業補助 金	52,416	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・21件	187
2. 県営ため池整備事 業負担金	4,183	<p>県営ため池等整備事業負担金</p> <p>○大切戸地区 事業内容 上屋工一式 事業期間 平成14年度～平成21年度 事業費 4,305千円 (工事費4,100 事務費205) 負担区分 工事費 国55% 県37% 市8% 事務費 国50% 県25% 市25% →伊勢市負担額 358,000円</p> <p>○戸部神地区 事業内容 詳細設計一式 事業期間 平成20年度～平成24年度 事業費 18,900千円 (工事費18,000 事務費900) 負担区分 工事費 国50% 県30% 市20% 事務費 国50% 県25% 市25% →伊勢市負担額 3,825,000円</p>	187

<p>3. 県営かんがい排水 事業負担金</p>	<p>52,421</p>	<p>県営かんがい排水事業負担金 ○宮川2工区 事業内容 幹線用水路L=400m 事業期間 平成17年度～平成23年度 事業費 73,500千円(工事費70,000 事務費3,500) 負担区分 国50% 県25% 市町村15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市11.7% →伊勢市負担額 1,289,925円 →うち現年307,125円 繰越982,800円 ○宮川4工区 事業内容 幹線用水路L=700m 支線用水路一式 事業期間 平成18年度～平成24年度 事業費 262,500千円(工事費250,000 事務費12,500) 負担区分 幹線 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% 支線 国50% 県25% 市8.333% 御菌改16.667% →伊勢市負担額 34,095,000円 →うち現年16,624,000円 繰越17,471,000円 ○宮川4工区その2 事業内容 幹線用水路L=2,600m 事業期間 平成19年度～平成25年度 事業費 561,750千円(工事費535,000 事務費26,750) 負担区分 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市99.938% →伊勢市負担額 84,210,000円 →うち現年35,490,000円 繰越48,720,000円</p>	<p>187</p>
<p>4. 経営体育成基盤整 備事業負担金</p>	<p>2,492</p>	<p>県営経営体育成基盤整備事業負担金 ○有田地区 事業内容 幹線用水路L=847m 支線用水路L=10,280m 事業期間 平成17年度～平成25年度 事業費 554,400千円(工事費528,000 事務費26,400) 負担区分 ・幹線 工事費 国50% 県27.5% 市町12.5% 地元10% →受益面積割 伊勢市1.688% 事務費 国50% 県25% 市町15% 地元10% →受益面積割 伊勢市2.025% ・支線(宮川左岸第一土地改良区) 工事費 国50% 県27.5% 市町4.5% 地元18% →受益面積割 伊勢市0.054% 事務費 国50% 県25% 市町5% 地元20% →受益面積割 伊勢市0.06% →伊勢市負担額 4,475,113円 →うち現年993,827円 繰越3,481,286円 ○小俣地区 事業内容 支線用水路L=3,500m 測量設計一式 事業期間 平成21年度～平成26年度 事業費 132,300千円(工事費126,000 事務費6,300) 負担区分 幹線 国50% 県27.5% 市12.5% 宮川用水10% 支線 国50% 県27.5% 市4.05% 小俣改18.45% →伊勢市負担額 5,386,500円 →うち現年1,498,500円 繰越3,888,000円</p>	<p>187</p>

5. 県営ふるさと農道 整備事業負担金	30,335	<p>県営ふるさと農道整備事業負担金</p> <p>○二見町松下地区</p> <p>事業内容 橋脚工 1基</p> <p>事業期間 平成10年度～平成24年度</p> <p>事業費 174,730千円(工事費173,000 事務費1,730)</p> <p>負担区分 工事費 県65% 市町村35%</p> <p>事務費 県50% 市町村50%</p> <p>→伊勢市負担額 61,415,000円</p> <p>→うち現年30,335,000円 繰越31,080,000円</p>	187
6. 農道整備事業	1,628	<p>道路幅員等において国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通安全の確保に努めた。</p> <p>上野町地内 農道舗装(その1)工事</p>	187
7. 農業用排水路整備 事業	6,498	<p>国・県の補助事業として採択基準に合致しない老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。</p> <p>津村町地内 農業用排水路(その1)工事ほか1件</p>	187
8. 給水栓整備事業	3,486	<p>当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。</p> <p>西豊浜町地内 給水栓設置 54箇所</p>	187
9. 農村振興整備事業	83,838	<p>農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前山町地内 農排3-4号工事ほか4件 ・西豊浜町地内 集道3-1号工事に伴う地質調査業務委託ほか24件 	187
10. 農地有効利用支援 整備事業	30,121	<p>部分的な農地の排水条件の改良や農道の適正管理に必要な舗装又は施設管理の省力化等の簡易な基盤整備等に対応し、食料供給力の強化を図った。</p> <p>二見町今一色地内 農業用排水路1-3号工事ほか11件</p>	187

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 135,053 千円
 決算額 91,144 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	145		36,932	54,067

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	50,606	<p>排水機場の定期的なポンプ、エンジンのオーバーホール、除塵機等設備の整備補修等を実施することにより、施設の機能保持と耐用年数の確保を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とし、土地改良施設維持管理適正化事業に加入することで、事業費の90% (国: 30%、県: 30%、市: 30%) の交付金を受けるものである。</p> <p>また交付金90%のうち、市負担の30%と、2.5%の事務費を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。</p> <p>(概要)</p> <p>○土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金</p> <p>【旧伊勢分】 5,005,000円 施行施設 村松町 亀池ひ門 有滝町 社護神排水機場 東豊浜町 東豊浜第2排水機場 一色町 一色排水機場 村松町 村松排水機場 東大淀町 新堀排水機場</p> <p>【旧二見分】 3,250,000円 施行施設 二見町西 西排水機場 二見町今一色 今一色排水機場 二見町江 江排水機場 二見町三津 三津排水機場</p> <p>【旧小俣分】 2,340,000円 施行施設 小俣町元町 汁谷川排水機場 負担区分 国 30% 県 30% 市 40% (うち30%は拠出金)</p> <p>○排水機場補修工事</p> <p>【旧伊勢分】 26,009,550円 施行施設 東大淀町 新堀排水機場ほか2件</p> <p>【旧二見分】 14,001,750円 施行施設 二見町西 西(新)排水機場ほか1件</p>	189

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 28,308 千円
 決算額 25,350 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,930	6,661		171	16,588

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 環境保全林整備事業	1,601	市民の憩いの場である三郷山生活環境保全林において、適正な間伐による、保全林機能の向上を図った。 間伐 1.9ha	189
2. 森林病虫害防除事業	9,985	海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布 19.3ha 伐倒破碎 91.7m ³ 樹幹注入 266本	189
3. 獣害防止事業	278	伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林産物及び人的被害軽減に努めた。 猪・鹿:3,000円/頭 猿:10,000円/頭 実績 猪35頭 鹿47頭 猿3頭	191
4. 森林環境創造事業	974	音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.59ha実施した。	191

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 33,018 千円
 決算額 32,275 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	25,310			6,965

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 魚礁効果調査事業	624	昭和54年から平成10年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁について、設置状況と魚類等の集状況を調査し、適切な施設の維持管理及び設置効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。 ・調査回数 5回	191
2. アサリ養殖振興事業補助金	2,686	主力水産物であるアサリ資源の減少により、生産高がここ数年激減しているため、伊勢市各地先に種苗を放流して資源の増大、漁家経営の安定を図った。	191
3. 種苗(クルマエビ等)育成事業補助金	144	伊勢湾に小型底曳網漁業等で漁獲されるクルマエビ・ヨシエビ・クロダイ・ヒラメ種苗を放流して、資源の増大と生産の安定を図った。	191

4. 稚鮎等放流事業補助金	600	宮川本支流にアユ・ウナギ・アマゴ種苗を放流して、資源の増大と生産の向上を図った。	191
5. 水産教室実施事業	35	市立東大淀小学校5, 6年生(40名)に伊勢市の漁業に関する講習、施設見学、体験学習を実施し、将来つくべき職業のひとつとして考えてもらうよう、漁業への興味高揚を図った。	191
6. ノリ養殖業施設整備事業	27,611	大型ノリ自動乾燥機を整備して有償貸与し、協業体の黒ノリの安定生産、コスト縮減による経営強化と、地区内ノリ養殖業の協業化の促進を図った。	193
7. 干潟保全活動支援事業	575	地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。	193

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 4. 漁港建設費

(単位 千円)

予算現額 264,763 千円
 決算額 185,197 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
68,780	94,814	15,500	1,866	4,237

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 豊北漁港整備事業	99,997	○豊北漁港浮棧橋整備工事 漁業者の就労環境の整備及び高齢者対策を図るため、浮棧橋(N=1基)を設置した。	193
2. 大淀漁港整備事業	1,727	航路に土砂が堆積し、漁船の航行に支障をきたしているため、土砂を浚渫し(A=4,880㎡)漁船の安全航行を図った。	193
3. 豊北漁港海岸整備事業	54,840	○豊北漁港海岸堤防整備工事 老朽化した堤防を整備し、波浪時の高潮等から背後地を防護するため、海岸整備工事(L=160m)を進めた。	193
4. 村松漁港堤防修繕事業	28,633	○村松漁港海岸堤防整備工事 陥没している堤防を修繕し、波浪・津波等からの背後施設を防護するため、堤防修繕工事(L=67.2m)を行った。	193

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 92,506 千円
 決算額 92,194 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				92,194

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢志摩総合地方卸売市場貸付金	18,000	伊勢志摩総合地方卸売市場に資金を貸し付けることにより、経営の安定を図り、消費者への生鮮食料品の安定供給と地元生産者の安定的な販路の確立を図った。	195
2. 商工一般経費	948	新道商店街入口のモニュメント時計は、平成3年度の宝くじ助成により建設されたが、老朽化に伴い故障し、時計としての機能を果たせなくなっていたため、解体・撤去した。	195

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 54,362 千円
 決算額 48,164 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,550				41,614

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 商工制度資金利子補給事業補助金	110	平成18年末までに小俣町商工会の斡旋により小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じた利子の補給補助を行い、小俣町商工会管内の商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。 補助件数 15件	195
2. 小規模事業資金融資保証料補給補助金	12,267	伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行い、設備資金及び運転資金の円滑化を図った。 補助件数 218件	195
3. 経営改善普及事業補助金	7,200	小俣町商工会が、商工業者に対して実施する経営改善普及事業に要する経費に対し、補助金を交付することにより商工業の発展を図った。	195
4. 中小企業相談所事業補助金	9,500	伊勢商工会議所内に設置された中小企業相談所が実施する中小企業への経営改善指導事業等に対し、補助金を交付し、中小企業の振興を図った。	195

5. TMO構想推進協働事業	1,794	賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場として中心市街地を再生・活性化させるために、中心市街地に設置された「いせTMO」の活動拠点において、地域住民、商業者、商工会議所と連携を図りながら、賑わいを創出する事業の活動支援や、取り組みについての情報交換を実施した。 また、各商店街や中心市街地で開催される各種イベント等の周知やチャレンジショップ事業募集などの情報発信を行った。 事業着手年度 平成16年度～	195
6. TMO構想推進事業補助金	4,580	商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する事業に補助金を交付した。 (1)空店舗等対策事業 ①活用モデル事業 2件 ②テナント確保支援事業 2件 ③チャレンジショップ事業 3件 (2)各種調査事業 空店舗調査 (3)商業まちづくり補助金事業 2団体	195
7. 商店街等振興支援補助金	12,263	商店街の賑わい回復を目的として、伊勢市商店街連合会プレミアム優待セール実行委員会（参加店舗531店）に対して補助金を交付した。 (1)プレミアム優待セール 平成21年5月15日～6月14日 (2)商品券使用期間 平成21年7月 1日～9月30日	195
8. 地域資源活用構想策定事業	450	地域に散在する地域資源の発掘と再評価を行なうとともに、活用構想を策定していく伊勢商工会議所の取り組みに対して補助金を交付した。	195

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 77,229 千円
決算額 75,051 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,794		10,900	7,596	44,761

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 産業支援推進事業	7,490	中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を交付した。	197
2. ものづくり推進事業	8,655	企業支援員を配置し、市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握し、その解決に向け関連支援機関等への橋渡しや、各種セミナー、支援策の紹介を行った。	197

<p>3. 起業支援推進事業</p>	<p>4, 701</p>	<p>創業支援員を委託し、産業支援センター内で、起業者に対して課題解決のアドバイスや経営・財務などの相談支援を行った。また、起業啓発イベントや起業者への実務セミナーなどを開催し、起業の気運向上や環境を図った。 起業者の紹介などを目的に「リーディング産業展みえ2009」へ出展した。</p>	<p>197</p>
<p>4. 太陽光発電設備設置事業</p>	<p>23, 254</p>	<p>伊勢市産業支援センターに太陽光発電設備（30kW）を設置した。</p>	<p>197</p>

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 176,915 千円
 決算額 169,103 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			12,787	156,316

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢活性化プロジェクト事業	4,977	「市民力の結集」を活用した観光振興を図るため、市民団体等と行政が一体となり本市の観光に関する現状と課題を話し合い各組織が互いに役割を認識しながら連携を図った。	197
2. バリアフリー観光向上事業	2,000	伊勢市内の観光施設、行事等において、観光客や観光関係者のニーズに対応するため、バリアフリーの観点からその実態調査を行った。	199

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 初参り旅客接遇事業負担金	450	地元15団体による伊勢おもてなし会を設立し外宮前、外宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、外宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客におもてなしを実施。 伊勢市観光協会としては、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇及び宇治浦田駐車場の管理を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅を各4,000個配布した。	197
2. 案内所運営委託事業	8,235	外宮前・近鉄宇治山田駅構内・二見浦観光案内所で、観光客の案内を行った。(社)伊勢市観光協会に委託) ・外宮前案内所 78,428件 (うち外国人 1,911件) ・宇治山田駅構内案内所 28,230件 (うち外国人 531件) ・二見浦観光案内所 3,836件 (うち外国人 55件)	199
3. 観光協会負担金	5,860	(社)伊勢市観光協会の財政基盤の確立と観光協会自体が弾力性をもって観光の推進に努めた。	199

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	17,810	資料館である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることにより、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図った。施設見学はもとより、各種自主催事を実施し、より多くの集客に繋げた。 ○委託料 5,700千円(指定管理料) ○入館者数 H21年度 32,028人 ・賓日館軒樋修繕工事 9,888千円 ・賓日館庭園樹木剪定業務等 2,222千円	197

2. 海水浴場管理運営 事業	4,798	二見浦海水浴場の施設維持管理及び開設に伴う管理委託等を行った。 ○委託料 1,373千円(管理運営委託) (社)伊勢市観光協会へ委託 938千円(防護フェンス設置委託等) ○工事費 1,973千円(二見浦海水浴場防護柵 補修工事) ○その他諸経費 514千円 ○開設期間 平成21年7月4日～8月31日 ○来場者数 H21年度 約20,290名	197
----------------------	-------	--	-----

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 96,642 千円
決算額 92,956 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			18,836	74,120

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光情報発信事業	18,272	誘客宣伝、パンフレット、ホームページ等による情報発信により、来訪者の新規開拓、リピーターの確保を図った。	199
2. 広域連携事業	6,773	近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化しながら多様化するお客様ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な観光客の誘客宣伝並びに受入体制の充実を推進した。	199
3. 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業	4,000	観光販売システムズに業務委託する形で、伊勢の観光資源を活用した旅行商品の開発等伊勢への誘客事業を積極的に推進した。	199
4. 各種集大会等誘致開催補助金	1,190	産業経済振興等のために開催され、市内集会施設を利用し、かつ市内(新市区域)に宿泊することを原則とした県大会規模以上の各種集大会に補助金を交付した。	199
5. 伊勢志摩広域観光活性化事業	25,065	伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩観光振興プランの推進及び地域観光圏整備事業、伊勢志摩キャンペーン等を実施した。	199
6. 外国人観光客誘致推進事業	736	外国人誘客事業として、関係各所と各種事業を協働するとともに、トップセールスによる外客誘致も実施した。	199

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広域連携事業	8,100	近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化しながら多様化するお客様ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な観光客の誘客宣伝並びに受入体制の充実を推進した。	199

2. 全日本花いっぱい 伊勢大会開催負担 金	14,520	町を花いっぱいにして社会を美しく、明るく、住みよくし、平和な理想郷を建設することを目的とした「花いっぱい運動」の全国大会を伊勢で開催した。また、大会終了後も「花いっぱい運動」を継続し、花で溢れる魅力あるまちづくりを進めるため、市民及び団体の育成を含めた計画の準備をした。	199
3. 春の行事負担金	1,300	日本さくらの名所百選の宮川堤において（社）伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を出迎えた。 （4月1日～10日） 6月5日～6日に日本観光交流・伊勢会議及び観光祈願祭を開催した。	199
4. 花火大会開催負担 金	13,000	52の花火師が参加。打上花火の部52組、スターマインの部10基の2部門で競われ、全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられた。 平成21年度は、競技大会ということを身近に感じてもらえるよう、花火師の写真と採点欄を記載したプログラムをさらに見やすくするなど改善を行った。 観客数22万人	199

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 19,900 千円
決算額 19,900 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				19,900

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 民俗伝統行事推進 事業負担金	14,900	第62回神宮式年遷宮に向け、平成18・19年に市指定無形民俗文化財の「お木曳行事」、平成21年には宇治橋渡始式が盛大に行われたが、今後予定されている平成25年のお白石持ち行事まで継続して遷宮関連行事とともに伊勢を情報発信するため御遷宮対策事務局の運営を支援した。	頁 199
2. 伊勢のまつりブラン ド化推進事業	5,000	10月14日に県営サンアリーナにおいて神嘗晦日祭が行われ、神嘗エンヤ市や阿波踊りや花笠踊り、沖縄エイサー、岸和田だんじり、越中おわら風の盆、じゃこっぺ踊りなど日本の三大民踊、三大パレードと言われる団体が来勢し、約12,000人の集客に繋がった。15日には市駅前から外宮にかけて、初穂曳に加え全国の踊りなどが披露された。	199

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 190,816 千円
 決算額 186,948 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,026				185,922

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	5,255	適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄付採納を行った。	201
2. 道路台帳整備経費	7,035	道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 (概要) ・道路台帳修正 新規認定 2.8 km 廃止 0 km 改良 10.0 km	201

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	2,055	建築行為等に係る「道路後退用地等整備推進要綱」に基づく道路後退用地の買収、工事を行い、狭あい道路の解消を図った。 (概要) 道路舗装補修工事 1件 公共用地の取得 4件 地権者数 5人 筆数 4筆 面積 49.61㎡	201

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 167,397 千円
 決算額 127,072 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,470				102,602

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	12,092	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 また、危険箇所、老朽箇所を補修し、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。 (概要) 【旧伊勢分】 7,210,350円 ・舗装工事 1件 L= 243.0m A= 1,708.0m ² 【旧小俣分】 4,881,450円 ・舗装補修工事 1件 L= 289.0m A= 1,230.0m ²	203

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 765,950 千円
 決算額 526,885 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
64,465	2,382	402,900	835	56,303

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	6,740	三重県が施行した道路改良事業に対し、負担を行った。(鳥羽松阪線、伊勢大宮線、横輪南勢線、伊勢南勢線、館町通線、伊勢南島線、一般国道42号、東大淀小俣線)	203

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路改良事業	66,275	<p>市民生活に密接した道路の拡幅等を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分</p> <p>道路改良工事 5路線 L=460m (平成22年度へ一部繰越)</p> <p>道路舗装工事 1路線 A=132㎡</p> <p>用水管移設工事 1路線 用水管移設工一式</p> <p>設計業務 5路線 L=1,967m</p> <p>測量業務 3路線 L=355m</p> <p>地質調査 1路線 地質調査一式</p> <p>調査業務 1路線 調査業務一式</p> <p>用地買収 7筆 A=242.47㎡</p> <p>支障物件移転補償 2件</p> <p>②平成20年度からの繰越</p> <p>用地測量 1路線 用地測量一式</p> <p>③平成20年度から一部繰越</p> <p>道路改良工事 1路線 L=112m</p>	203

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	453,870	<p>市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。</p> <p>また、危険箇所等の補修を行い、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>【旧伊勢分】 359,027,760円</p> <p>①現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計等 43件 ・一般改良 19件 L=6,786.6m ・分筆登記等 3件 ・用地買収 1件 ・補償 1件 <p>【旧二見分】 49,843,500円</p> <p>①現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計 6件 ・一般改良 3件 L=812.0m <p>【旧小俣分】 9,056,250円</p> <p>①現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計 1件 <p>②平成20年度からの繰越分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般改良 2件 L=435.4m <p>【旧御菌分】 35,942,550円</p> <p>①現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計 1件 <p>②平成20年度からの繰越分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般改良 4件 L=603.5m 	203

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 48,827 千円
 決算額 46,065 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,863			40,202

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全施設整備事業	17,037	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 【旧伊勢分】 12,187,245円 ・道路反射鏡 64基 ・道路照明設備 7基 ・区画線工 4,551.7m ・ガードレール 29.0m ・カラー舗装 16箇所 ・カラー路面表示 161.0m 【旧二見分】 891,450円 ・道路反射鏡 10基 ・道路照明設備 1基 【旧小俣分】 2,352,630円 ・道路反射鏡 18基 ・区画線工 191.0m ・防護柵設置工 14.0m 【旧御菌分】 1,605,450円 ・道路反射鏡 4基 ・区画線工 2,711.0m	205

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 398,758 千円
 決算額 296,096 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
162,143		42,200	71,860	19,893

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 大湊川線整備事業 (交付金)	115,304	<p>大湊町民の日常生活経路及び災害時の避難路は、現在、県道大湊宮町停車場線にかかる湊橋のみとなっており、住宅団地等の開発が進む中で新しい道路の建設が急務であった。</p> <p>また、医療・福祉施設などの高齢者の増加に対応した施設、日常生活の利便性を賄う商業施設が不足しており、地区外への依存が日常から求められていることから、大湊地区の防災機能の向上及び住民の生活機能の拡充を図るべく、バイパス整備を平成11年度より進めてきた。第1工区については、平成14年度に完了、第二工区については、平成15年度から着手し、本年度完成した「第二湊橋」の建設により、事業計画は完了した。</p> <p>(概要)</p> <p>◇地方道路整備臨時交付金事業 橋梁工事 一式 コンクリート橋上部工、橋梁附属物工、舗装工 (平成20年度より一部繰越)</p> <p>(全体事業) (交付金・起債事業)</p> <p>○地方道路整備臨時交付金事業 [第一工区] 事業費 248,000千円 事業概要 道路改良 L=220m 事業期間 平成11年度～平成14年度</p> <p>[第二工区] 事業費 572,320千円 事業概要 道路改良 L=249m 事業期間 平成15年度～平成21年度</p> <p>○地方特定道路整備事業 事業費 127,634千円 事業概要 道路改良 L=570m 事業期間 平成11年度～平成20年度</p>	205
2. 小俣20号線整備 事業(交付金)	59,465	<p>本路線は小俣市街地と明野小学校、総合体育館、大仏山公園等がある明野地区を結ぶ重要な路線であり、また通学路にもなっているが、歩道・車道共に幅員が狭く危険な状態となっている。そのため、拡幅整備を行うことにより、安全な通学路として、また車両の安全な通行機能の向上を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>◇地域活力基盤創造交付金事業 道路改良工事 L=875m 道路舗装工事 A=2,030㎡</p> <p>◇地方道路整備臨時交付金事業 道路改良工事 L=302.6m (平成20年度からの一部繰越)</p> <p>(全体事業) (交付金事業費) 事業費 456,854千円 事業概要 道路改良 L=1,188m 事業期間 平成16年度～平成21年度</p>	205

<p>3. 勢田5号線ほか1 線整備事業（交付 金）</p>	<p>8,161</p>	<p>本事業路線である市道勢田5号線は、県道伊勢磯部線と三重県新伊勢庁舎を、また市道勢田21-1号線は、市道勢田5号線と岡本2丁目地内の大規模団地を結ぶ重要な路線であるが、道路幅員が狭い上、急なカーブがあるため安全性に欠けていることから、災害時に機能する道路、また日常生活において安全に通行できる道路を目指し、道路整備を進めた。</p> <p>（概要） ◇地域活力基盤創造交付金事業 路線測量 L=280m 用地測量 A=1.28ha 設計業務 L=283m （全体事業）（交付金事業費） 事業費 110,000千円 事業概要 道路改良 L=260m 事業期間 平成21年度～平成24年度</p>	<p>205</p>
<p>4. 神久1号線ほか1 線整備事業（交付 金）</p>	<p>8,820</p>	<p>本路線は幅員が3～4mと狭く車両の対向も困難であることから、朝夕の通勤通学時には車両と歩行者が混在し、事故が発生しやすい状況にあるため、災害時への機能向上、また交通事故防止や交通渋滞緩和の解消等、安全・安心に通行できる道路を目指し、道路整備を進めた。</p> <p>（概要） ◇地域活力基盤創造交付金事業 待避所設置工 2箇所 （全体事業）（交付金事業費） 事業費 55,000千円 事業概要 待避所設置工7箇所 事業期間 平成21年度～平成24年度</p>	<p>205</p>
<p>5. 西36号線ほか1 線整備事業（交付 金）</p>	<p>27,692</p>	<p>本路線周辺の主要道路は小学生の通学路として、またバス路線として利用されているが、家屋が密集しており道路幅員が狭い状況であるため、安全性の確保及び道路機能の向上を図り、道路整備を進めた。</p> <p>（概要） ◇地域活力基盤創造交付金事業 用地 A=1,497.28㎡ 補償 工作物、立木、動産移転 一式 （全体事業）（交付金事業費） 事業費 139,000千円 事業概要 道路改良 L=315m 用地 A=1629.24㎡ 補償 一式 事業期間 平成21年度～平成25年度</p>	<p>205</p>
<p>6. 裏浜第3線整備事 業（交付金）</p>	<p>9,281</p>	<p>本路線地区の緊急避難路は、家屋が密集し道路幅員が狭いため、安全の確保が求められる。このため、国土交通省がすすめる西南海岸の堤防整備に併せ、本路線を整備し、防災機能の向上、地域住民の安全確保を図った。</p> <p>（概要） ◇地域活力基盤創造交付金事業 道路舗装 A=2,010㎡ （全体事業）（交付金事業費） 事業費 30,000千円 事業概要 道路舗装 A=4,005㎡ 事業期間 平成21年度～平成23年度</p>	<p>205</p>

7. 柏東大淀線整備事業（防衛）	67,373	<p>本路線は東大淀町から国道23号へ通じる生活道路であり、また、隣接する柏町から災害時の非難場所である東大淀小学校へ通じる最短ルートでもあるが、道路幅員が狭く道路機能が著しく低い状態である。また、本路線上空を陸上自衛隊明野駐屯地の航空機が低空で進入離脱を繰り返しており、航空機事故等緊急時の救助活動、避難活動に支障をきたす恐れがある。そのため、平成18年度から防衛省補助事業として整備を行っているものである。</p> <p>（概要）</p> <p>◇防衛施設周辺民生安定施設整備事業（補助）</p> <p>○平成20・21年度継続費 道路改良工事 L=80m 橋梁工事 一式 道路整備事業と河川改修事業による合併施行 負担割合：道路51.4% 河川48.6%</p> <p>○平成21・22年度継続費 道路改良工事 L=275m 安全施設設置工 一式</p> <p>（全体事業）（補助事業費） 事業費 230,449千円 事業概要 道路改良 L=710m 事業期間 平成18年度～平成23年度</p>	205
---------------------	--------	---	-----

（款）9．土木費 （項）3．河川費 （目）2．勢田川対策費

（単位 千円）

予算現額 19,400 千円
決算額 18,307 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,777				6,530

維持課

（単位 千円）

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 勢田川浄化経費	16,700	平成5年10月から、宮川7.4km地点（辻久留2丁目地内）で取水し、勢田川5.1km地点（小田橋下流）に、1.0 ^ト /秒以下の導水を行っている。 （平成21年度の稼働日数258日）	205

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 河川改修事業費

(単位 千円)

予算現額 195,512 千円
 決算額 182,100 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
112,405		45,400	420	23,875

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 準用河川大堀川支 川改修事業(防 衛)	182,100	<p>土地形状の変化や排水流出量の増加に伴う河川の断面不足により、豪雨時の浸水被害が近年多発している。浸水被害の防止が急務となっているため、河川改修を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>◇防衛施設周辺障害防止事業(補助)</p> <p>①現年分 設計業務 一式 支障物件移転補償 3件</p> <p>②平成20・21年度継続費 築堤護岸工事 右岸L=162.2m 左岸L=248.9m</p> <p>橋梁工事 一式 道路整備事業と河川改修事業による合併施行 負担割合:道路51.4% 河川48.6%</p> <p>③平成21・22年度継続費 築堤護岸工事 右岸L=208.6m 左岸L=378.5m</p> <p>ポンプ場移設工事 土工 一式 水門設備工 一式 機械設備工 一式 電気設備工 一式</p> <p>(全体事業) (補助事業費) 事業費 758,619千円 事業概要 改修延長 L=760.0m 幅員 W=14.5m 流量 Q=51m³/秒 事業期間 平成16年度~平成23年度</p>	207

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 6. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 208,774 千円
 決算額 208,458 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		75,900	125,559	6,999

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水施設整備事業	208,458	豪雨時の急激な増水による浸水を防止するとともに、生活環境の向上を図るため、排水路の整備、排水機場の整備等を進めた。 (概要) ①現年分 ポンプ場設計業務 1 ポンプ場 排水路改良工事 1 排水路 L=147.5m ②平成20・21年度継続費 排水機場機械設備工事 1 機場 排水機場電気設備工事 1 機場 ③平成20年度からの一部繰越 排水路改良工事 1 排水路 L=321.3m ポンプ場機械設備工事 1 ポンプ場 ポンプ場電気設備工事 1 ポンプ場 ④平成20年度からの繰越 用地境界杭設置業務 24本	209

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 7. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 17,506 千円
 決算額 17,468 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		6,100	9,305	2,063

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川改良事業	17,468	護岸の侵食が著しい河川の改良を行い、機能の改善を進めた。 (概要) 調査設計業務 1 河川 4箇所 一般改良工事 1 河川 2箇所 L=85m (平成20年度から一部繰越) 防護柵設置工 1 河川 2箇所 床版撤去復旧工 1 河川 床版5枚 支障物件移転補償1件 (平成20年度から一部繰越)	209

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 26,965 千円
 決算額 14,783 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,100	4,177	2,800		3,706

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	3,708	三重県が施行した海岸環境整備事業、港湾改修事業に対し、負担を行った。 海岸維持：宇治山田港（大湊・二見）、北浜地区、松下地区、神前地区 港湾改修：宇治山田港（神社地区、大湊地区）	209
2. 海岸環境整備経費	8,696	【監理課】 4,100千円 西南海岸北浜堤防の緩傾斜法面及び広場を緑化し、海岸環境の再生を進めた。 (概要) ・緑化工事 村松町 9,500㎡ 東大淀町 600㎡ ・植栽工 東大淀町 59本 (平成22年度へ一部繰越) 【維持課】 4,596千円 海岸清掃を行い海岸の美化に努めた。	209

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 1. 都市計画総務費

(単位 千円)

予算現額 1,876,883 千円
 決算額 1,873,087 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,000	447		400	1,870,240

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 都市計画道路見直し調査検討経費	6,001	都市計画道路は、都市の将来像を示し、健全な土地利用を図る目的で決定している。伊勢市では昭和21年に当初決定され、現在においても長期未改良の路線が存在しているため、都市計画道路の必要性を再検証し、適正な都市の将来像を示すために、都市計画道路の見直し検討を行った。 (概要) ◇都市計画道路の見直し検討	209
2. 都市計画基本方針策定経費	798	総合計画策定に伴い、伊勢市の今後の都市計画の立案・推進に重要な基本的な都市づくりの方針、長期的な視点から都市の将来像を示し、市の都市空間づくりの総合的な指針として平成21年5月に都市マスタープラン全体構想を公表、その周知に努めた。 (概要) ◇伊勢市都市マスタープラン全体構想本編及び概要版作成	211

3. 土地利用推進方策 調査検討経費	3,990	伊勢市都市マスタープラン全体構想の方針に基づき、用途地域の見直しを含めた伊勢市土地利用推進に関する調査や具体的な手法として、特定用途制限地域と特別用途地区導入の調査検討を行った。 (概要) ◇土地利用基本方針案作成 ◇用途地域等指定基準及び、都市計画決定図書 の原案作成	211
4. 景観形成推進事業	3,008	平成21年3月に景観条例を制定し、同5月に景観計画を公表、同10月、運用を開始した。景観計画の執行管理と共に、景観重要建造物等の調査整理を行ない、景観計画書及び概要版を作製し周知に努めた。 (概要) ◇伊勢市景観計画書及び概要版作成 ◇伊勢市景観計画の執行管理支援 ◇景観重要建造物、景観重要樹木指定に向けた調査整理	211

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 759,895 千円
決算額 579,769 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
138,000		362,800	43,793	35,176

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢湾海上アクセス推進事業	17,442	平成18年10月に運航事業者から、伊勢市と中部国際空港を結ぶ海上運航への進出の申し出があり、伊勢市はこの申し出を受けると共に、交通システム見直し整備の一環として位置付け、平成20年4月20日の就航に向け、ターミナル整備を進めてきた。 しかし、運航事業者から突然の就航断念の申し出があり、4月の就航が中止となったため、新たな運航事業者を探したが見つけることができず、社会経済情勢が安定するまで中部国際空港との航路は「凍結」することとなった。 今年度については、国の補助事業である「緊急雇用創出事業」も活用しながら、施設管理を行うとともに、今後の利活用について検討を重ねた。 また、平成21年3月に係留施設の安全性について疑義が生じ港湾管理者から使用停止の指示が出たため、その安全性について確認を行ったところ、修繕の必要があることがわかった。一方、係留施設にかかる住民訴訟が提訴されたことに伴い、弁護士に訴訟業務を委任し、対応にあたった。	211

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市駅周辺整備 事業	22,348	「まちづくり交付金」を活用し、伊勢市駅周辺整備のための調査を行うとともに、まちづくり活動推進事業として地域のまちづくり活動の支援や花と緑のまちづくり事業の推進を行った。 (概要) ◇伊勢市駅周辺施設活用調査業務委託 ◇駅周辺施設(宇治山田駅前広場)測量業務委託 ◇駅周辺施設(宇治山田駅前広場)活用調査業務委託 ◇民間事業立上げ支援調査(外宮参道)業務委託 ◇まちづくり計画推進事業(方法書作成)業務委託 ◇まちそだて推進事業委託 ◇花と緑のまちづくり事業 (平成22年度へ一部繰越)	211
2. 街なみ環境整備事 業	1,000	街なみ環境整備事業の一環として、二見町景観形成地区内における家屋の新築、増改築を行う建築物並びに工作物で補助基準を満たす申請物件に対し工事費の1/3(上限1,000千円)の補助を行う景観形成助成を行った。	211
3. 小俣町本町地区周 辺整備事業	1,292	「まちづくり交付金」を活用し、歴史的資源を活かした市民参画によるまちづくりを進めた。 (概要) ◇本町再発見活動事業委託 ◇まちづくり計画推進事業(方法書作成)業務委託	211
4. 交通施設バリアフ リー化事業	2,253	高齢者・障がい者等の移動の円滑化を促進し、高齢社会の到来に備えるとともに、障がい者の自立と社会参画の要望に応えるため、鉄道事業者が行う鉄道駅における移動の円滑化のためのバリアフリー化に対して補助を行った。 (平成22年度へ一部繰越)	211

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市駅周辺整備 事業	391,800	『まちづくり交付金』制度を活用し、平成18年度から伊勢市駅周辺地域の道路、公園の整備を段階的に行い、中心市街地の活性化、再生を図っている。 (概要) ①現年分 公園設計業務 1公園 道路測量設計等業務 5路線 公園整備工事 1公園 道路改良工事 7路線 (平成22年度へ一部繰越) 用地買収 6筆 A=324.49㎡ 支障物件移転・残地補償 7件 (平成22年度へ一部繰越) ②平成20年度からの繰越 用地買収 4筆 A=605.58㎡ 支障物件移転補償 4件 (全体事業)(交付金事業費) 事業費 2,309,300千円 事業概要 道路11路線 公園10公園 事業期間 平成18年度～平成22年度	211

2. 小俣町本町地区周 辺整備事業	143,634	<p>『まちづくり交付金』制度を活用し、平成18年度から宮川駅周辺の道路環境整備を進め、市街地の活性化と鉄道の利用促進を図っている。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分 道路測量設計等業務 1路線 道路改良工事 1路線 用地買収 4筆 A=310.38㎡ 支障物件移転・残地補償 2件 (平成22年度へ一部繰越)</p> <p>②平成20年度から繰越 道路改良工事 1路線 支障物件移転補償 2件 (全体事業) (交付金事業費) 事業費 1,104,000千円 事業概要 道路3路線 公園1公園 橋梁点検7箇所 事業期間 平成18年度～平成22年度</p>	211
-------------------------	---------	---	-----

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 3. 都市施設管理費

(単位 千円)

予算現額 187,102 千円
決算額 176,880 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,100	423		1,016	145,341

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 都市施設維持管理 経費	57,652	<p>【基盤整備課】 30,138千円 市管理の法面が崩壊し危険な状態であったため、整備を行った。</p> <p>(概要) 吹付砕工 1箇所 808㎡</p> <p>【監理課】 2,881千円 神社「海の駅」駅舎の維持管理を行った。</p> <p>【維持課】 24,633千円 都市施設の維持管理を行った。</p>	213

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 花のまちづくり推進事業	3,776	<p>平成2年当時まつり博等市の一大イベントを控え、公共用地にパンジーなどを植え、観光客・市民にとって美しい花のまちづくりを推進した。イベント終了後も一過性の事業とはせず毎年推進している。</p> <p>平成21年度においては、第52回全日本花いっぱい伊勢大会の開催に伴い、市民の憩いの空間に花を植え、市民参加による花の植付けの機会を設けるなど、市民の関心を高める活動を行った。</p> <p>(概要) 花壇への植付け及び補植 楓橋、桜橋、倭町、岡本町、西口、宮崎、西豊浜、大湊等 各花壇 剪定 宮崎緑地</p>	213

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 4. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 44,500 千円
決算額 27,465 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,690		7,700		18,075

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	20,467	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。(秋葉山高向線ほか1線、新国道)	213

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 公園費

(単位 千円)

予算現額 52,487 千円
 決算額 51,541 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,060		26,400		3,081

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高向西公園整備事業(防衛)	49,926	<p>現在地区内には、約1,700㎡の公園があるが、変形した形状で道路においても非常に狭く、防災上の避難場所指定がされていない状況にある。このため、本地区に航空機事故発生時等に緊急避難するための新たな公園を設置し、伊勢市防災計画にて緊急避難場所指定することにより、緊急避難場所を確保する。また、地域住民のレクリエーション及びコミュニティ活動の拠点となる公共広場の確保を図る。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・測量設計業務委託 (平成22年度へ一部繰越) <p>(全体事業)</p> <p>A=0.28ha(約2,830㎡) 施行年度 平成21～24年度</p>	213
2. 公園改良事業	1,615	<p>人々のふれあいの場、レクリエーションの場として安全で快適に利用できる公園を提供するために公園整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>朝熊山麓公園花木植栽整備工事 吹上公園便所改修工事</p>	213

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 7. 都市下水路費

(単位 千円)

予算現額 12,804 千円
 決算額 12,803 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,118		4,200	3,485	

上下水道総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 倉田山都市下水路整備事業	12,803	<p>本地域は、古市町のテニスコート付近から黒瀬町の勢田川までの流域をもち、既設排水路及び排水機場の能力不足から、豪雨の度に浸水被害に見舞われていた。このため平成5年度に都市下水路事業として工事に着手し、平成11年度に黒瀬ポンプ場の一部供用を開始した。平成12年度以降は、ポンプ設備の増設、1号幹線及び2号幹線下水路の築造工事を行ってきた。平成15年度には事業の変更認可を行い、整備区域を拡大し、平成16年度から平成19年度の4ヵ年で引き続き1号幹線下水路の築造工事を行った。平成20年度から平成21年度は、2号幹線下水路の水路合流点を中心にネック点の解消を図るため築造工事を行った。</p> <p>(事業概要) 倉田山都市下水路2号幹線下水路築造工事 幹線下水路築造 L=55m</p>	215

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 229,029 千円
 決算額 219,516 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
56,876	191		118,542	43,907

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高齢者向け優良賃貸住宅家賃対策事業	9,409	<p>民間の土地所有者等による賃貸住宅の経営を誘導することにより、公営住宅を補完し高齢者の安全で安定した居住を確保するため、平成14年3月29日付で三重県知事より認定を受けた高齢者向け優良賃貸住宅供給計画に基づき、民間事業者により建設された高齢者向け優良住宅に対し、昨年度に引き続き住宅の家賃減額補助を行った。</p> <p>(施設概要) 名称 仲林マンション正邦苑竹ヶ鼻 所在地 伊勢市竹ヶ鼻町字沖田198番地 概要 鉄筋コンクリート造 5階建 24戸 1DK 43.22㎡ 20戸 2DK 54.42㎡ 4戸 エレベーター、緊急通報装置の設置、内装のバリアフリー化</p>	215

<p>2. 住宅等改修事業</p>	<p>32,181</p>	<p>市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。 (概要) 空家解体工事 対象 曾祢団地 1棟1戸 旭ヶ台団地 1棟2戸 桜木団地 1棟6戸 離宮山団地 1棟4戸 改修工事 対象 栗野団地 排水路 西豊浜団地 ガス管 大湊団地 排水ます、屋根、天井 倭AB団地 天井</p>	<p>215</p>
<p>3. 住宅等整備事業</p>	<p>33,777</p>	<p>平成17年度に策定した「地域住宅計画」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。 (概要) 景観改善工事 中村団地 3棟14戸 高齢者仕様改善工事 倭B団地 1棟12戸 公共下水道接続工事 一之木団地 5棟19戸 老朽化市営住宅入居者移転促進事業（移転補償） 桜木団地ほか2団地 9戸</p>	<p>215</p>

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 2,044,016 千円
 決算額 1,920,711 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
55,090	16,264	180,100	332,297	1,336,960

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	8,376	救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。 災害支援車 2,835千円(1台) 陽圧式化学防護服 1,306千円(3着) 軽量消防用ホース 1,129千円(40本) 防火外套 1,075千円(8組) 他	217
2. 救急車購入事業	62,804	車両更新計画により、老朽化した、平成6年及び10年登録の救急車2台を更新した。また、必要な機材を配備した。 高規格救急車 2台 31,458千円 高度救命処置機材 一式2組 28,350千円 他	217
3. 消防自動車購入事業	199,627	車両更新計画により、老朽化した、昭和62年登録の35m級伸縮水路管付先端屈折式はしご車1台を更新した。 35m級伸縮水路管付先端屈折式はしご車 1台 199,269千円 他	217

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 98,702 千円
 決算額 97,585 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		10,100	11,784	75,701

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	1,352	3カ年更新計画(3年目)により、消防車両49台に積載してある防火衣と消防団団旗を更新した。 防火衣 59組 880千円 消防団団旗 1組 472千円	219
2. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	13,203	消防団車両更新計画に基づき経年の小型動力ポンプ付積載車3台を更新した。 積載車 3台(二見分団二見第1班・二見分団二見第2班・大湊分団)	219

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 78,811 千円
 決算額 46,808 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
43		4,400	1,554	40,811

消防本部

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓新設負担金	7,050	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に単口消火栓13基を設置し、消防水利の普及を図った。 新設 13基 7,050千円	219
2. 消防団車庫改修事業	1,418	消防団車庫の機能維持のため、耐震調査及び老朽施設の撤去を行った。 耐震調査業務委託(厚生・早修分団) 1,082千円 ホース乾燥塔撤去工事(小俣分団) 336千円	219
3. 消防水利施設整備経費	4,428	消防水利の位置を明確にするとともに、その周辺への障害物排除及び活動区域を確保するため、消防水利溶着塗装及び標識の設置を施し対策を講じた。また、不良水利の改修及び閉塞工事並びに撤去に係る測量調査を行った。 防火井戸撤去に伴う測量調査 1,594千円 1箇所 水利蓋改修等 1,970千円 18箇所 溶着塗装 612千円 147箇所 防火井戸閉塞 252千円 1箇所	219
4. 消防署庁舎改修経費	7,811	消防本部(署)庁舎及び消防署西分署並びに消防署小俣分署の不良箇所の改修工事を施行した。また、昭和54年1月建設の消防署補助訓練塔の耐震診断を行った。 消防署補助訓練塔耐震診断業務委託 945千円 消防署本署警備室エアコン取付工事 935千円 消防署車庫及び書庫改修工事 3,534千円 消防署西分署鉄部塗装工事 735千円 消防署小俣分署車庫改修工事 1,562千円 他	219
5. 消防団車庫建替事業	8,539	老朽化した消防団車庫を防災拠点として活用できるよう待機室を備えた車庫を新設した。 消防団四郷分団楠部班車庫新築工事 8,195千円 木造平屋建 面積 46.37㎡ 消防団四郷分団楠部班車庫解体工事 303千円 他 軽量鉄骨造平屋建 面積 35.53㎡	219

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 469,008 千円
 決算額 126,490 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
36,538	29,156			60,796

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自主防災隊資機材購入事業	997	田尻町で新規結成された自主防災隊に対し、地域防災の強化を図るため防災資機材を交付した。 田尻町自主防災隊	221
2. 自主防災隊補助事業	6,328	伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治区を行う防災事業・活動に対し補助を行った。 自主防災隊訓練助成金 1,890千円 63件 防災補助金 4,438千円 50件	221
3. 防災気象情報収集システム運用経費	26,307	土砂災害に対する被害を最小限とし、災害時の避難行動を円滑にするため整備した土砂災害情報相互通報システムを、県が配信するデータ内容の変更に伴い、新たにメール・FAX等の情報提供機能を追加し、再整備した。	221
4. 防災行政無線管理運用経費	17,789	住民への災害情報伝達手段として整備した防災行政無線の管理運用に努めた。 同報系 親局4、中継局3、子局185 移動系 基地局4、移動局143	221
5. 地域防災力向上支援事業	4,275	○モデル地区において、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、防災情報を記載した地区の防災マップを作成した。 ○地域防災の中心的役割を担う自主防災隊のリーダーを対象に研修会を行い、自主防災隊の活性化を促進した。 ○地震からの被害を最小限にとどめるため、家具固定の知識を広く普及啓発することを目的に家具固定講習会を実施した。	221
6. 災害時要援護者対策事業	780	高齢者、障害者などの災害時要援護者を対象に家具固定事業を実施した。 2回実施、計54世帯	221
7. 防災マップ作成事業	8,271	国の床上浸水対策特別緊急事業（平成23年完了予定）の実施に伴い、宮川の洪水時における「浸水想定区域」と「浸水深」が更新されるため、平成16年3月に作成をした「宮川洪水ハザードマップ」の更新を行った。	221
8. 備蓄物資整備事業	30,748	○伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資の整備推進を図った。 ○災害用の仮設トイレや投光機等を購入し、避難所に必要な備品の充実を図った。	221

9. 住宅・建築物耐震 改修等促進事業	13,756	○阪神・淡路大震災では昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、東海・東南海・南海地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。	221
---------------------------	--------	--	-----

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防災行政無線管理 運用経費	788	町内各自治会が地区遠隔装置を使用する際に発生する電話使用料のうち、基本料金に対して補助を行った。 2,350円×12月×27回線(26自治区) =761,400円	221

御菌総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. CATV緊急防災 システム管理運営 経費	1,059	御菌町地域は災害時の緊急連絡手段としてCATVを利用した情報システムを運用しているため、転入、転居者等のCATVへの加入金、機器の設置費を負担し、地域の防災情報連絡手段の整備を図った。また、加入者情報の台帳を電算システムで管理しているため、賃借料、保守料を支出した。 負担金支出世帯 42世帯	221

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 657,834 千円
 決算額 643,703 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,695	100		8,326	613,582

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	1,810	<p>子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援した。</p> <p>○科学創作展</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会 開催日 : 平成21年9月5日(土)～6日(日) 開催場所 : 伊勢市生涯学習センター 委託料 : 195千円 <p>○教育美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 児童生徒の絵画、書写作品を展示し、一般に公開した。 委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会 開催日 : 平成21年11月28日(土)～29日(日) 開催場所 : 伊勢市生涯学習センター 委託料 : 300千円 <p>○音楽演劇発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 新型インフルエンザの流行のため直前に中止。 委託先 : 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 開催日 : 平成21年11月13日(金)に予定していた。 開催場所 : 観光文化会館で予定していた。 委託料 : 269千円 <p>○伊勢まつり「小学生連合鼓笛パレード」「中学生吹奏楽」「公立幼稚園ダンス」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 伊勢まつりで鼓笛パレード・吹奏楽・幼稚園ダンスを行った。 委託先 : 伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会 開催日 : 平成21年9月26日(土) 開催場所 : 県道鳥羽松阪線 尼辻交差点～伊勢市駅前 委託料 : 1,046千円 	223
2. スクールバス運行事業	8,207	<p>三重交通(株)にスクールバス運行業務を委託し、横輪・矢持地区の児童生徒、また囑託員のスクールバス運転手を雇用し、高麗広地区の児童生徒の通学上の安全を確保した。</p>	223
3. 学校教育支援事業	83,560	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員や教育支援ボランティアを配置し、特別支援学級や普通学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行った。また、個に応じた学習指導や活動支援を行い、確かな学力の定着や、さまざまな教育活動の充実を図った。 地域人材等を学校安全ボランティアとして登録し、通学路等の警備を行い、幼児児童生徒の安全確保を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ①学習支援員 52人 ②教育支援ボランティア 129人(登録) ③学校安全ボランティア 634人 生徒が悩み等を話せる身近な相談相手として、心の支援員を配置した。 <ul style="list-style-type: none"> 小学校2校 2人 中学校12校 12人 	223

4. 奨学金育英事業補助金	12,904	国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。 県外大学：45人 県内大学：27人 公立高校：53人 私立高校：15人 高専：4人	223
5. 私立学校等振興助成事業	98,136	○私立幼稚園就園奨励費補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。 ・補助金支給者数：944人 ・補助金支給額：83,907千円 ○私立幼稚園保育料補助金 市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。 ・補助金支給者数：799人 ・補助金支給額：3,995千円 ○幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。 ・補助金支給額：10,234千円	223
6. 非核・平和運営事業	988	各中学校から生徒代表2名（男女各1名）と、引率教員2名、指導主事1名を派遣し、平和学習を深めた。報告会を開催するとともに、広報いせ、ケーブルテレビ、報告文集を作成し、広く市民に平和の尊さを伝えた。	223

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 371,913 千円
決算額 363,836 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
219,932	1,652		36	142,216

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 教育相談事業	4,381	小・中学生の教育、不登校及びいじめ問題等に関する相談をうけ、必要な助言を行うことにより、不登校児童生徒の早期学校復帰、いじめの解消を図ることができた。 教育相談件数 193件 臨床心理士によるカウンセリング 175件	225
2. 不登校対策ハートケア事業	600	不登校児童生徒のための「教育支援センター」では、通級する児童生徒一人ひとりの自立・学校復帰に向けて、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行った。 教育支援センターへの通級児童生徒数 20名 教育支援センターへの相談件数 1,186件 (電話810件、来所219件、訪問157件)	225
3. スクールアドバイザー事業	11,313	スクールアドバイザーによる学校への指導助言、情報提供により、各学校が抱える問題への早期対応を図ることができた。 スクールアドバイス件数 447件	225

4. 教育研究研修推進 経費	2, 647	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進め、市内小中学校の教育力向上に寄与した。 研究運営 課題研究プロジェクト 他5件 研修運営 研修講座 21講座	225
5. 教育研究所運営経 費	1, 311	教育研究に関する情報の発信、教育資産（研究紀要、教育実践ビデオ等）のデータベース化に努め、教職員の資質、教育力向上に寄与した。	225
6. 問題を抱える子ども等の自立支援事業	1, 652	教育支援センターを中心に、不登校児童生徒の早期発見・対応及び未然防止に向け、学校満足度調査や講演会等を行うことによって、連携・支援体制の強化を図った。	225
7. 教育支援センター 沼木教室維持管理 経費	844	教育支援センターへ通級する児童生徒が、自然豊かな沼木教室の環境で安全・安心に活動できるよう、施設の維持管理に努めた。	225
8. 小学校教育用コン ピュータ管理経費	43, 725	小学校教育用コンピュータの整備により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	225
9. 中学校教育用コン ピュータ管理経費	25, 510	中学校教育用コンピュータの整備により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	225
10. 緊急連絡メール配 信経費	1, 625	緊急情報を瞬時に多数の保護者等へ連絡するため、携帯電話等のメールを併用する緊急連絡メール配信システムの管理を行った。	225
11. 伊勢市教育用ネッ トワークシステム 保守管理経費	13, 748	市内小中学校教育用コンピュータの一括管理を行い、安全・安心にコンピュータを使用できるよう、ネットワークシステム、インターネットセキュリティーの保守に努めた。	225
12. 学校情報通信技術 環境整備事業	221, 481	市内小中学校における教育用及び校務用のコンピュータ、電子黒板、校内LANの整備など、学校のICT環境の整備を行った。	225

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 57,653 千円
 決算額 56,799 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	872			55,927

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 講演会研修開催事業	881	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伊勢市人権講演会 河野 義行さんを講師として招き、平成21年12月6日にいせトピアで開催(約400人の参加)し、人権に対する正しい理解と認識を広めさせることができた。 ○ 第4回伊勢市人権教育をすすめる市民の集い 相田一人さん(相田みつを美術館館長)を講師として招き、平成21年7月28日にいせトピアで開催(約410人の参加)し、人権に対する正しい理解と認識を広めさせることができた。 ○ 管理職(校長)人権教育研修会 市内小・中学校での人権教育の取り組みをよりいっそう深めるため、管理職(校長)を対象に平成21年9月4日に講演会、意見交換等の研修会を開催した。 	227
2. 人権教育研究委託経費	1,000	人権・同和教育に関わる事業の充実を図るため、人権・同和教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託した。	227
3. 同和問題地域啓発推進事業	420	市内の4自治会を指定し、推進委員を委嘱して、6回の合同研修を開催した。その後、推進委員がリーダーとなって、各地域住民の同和問題への正しい理解を広めるため、啓発活動を行った。本年度は、常磐町東町町会、二見町三津区、御薊町長屋区(上・中・下)、緑が丘町内会の各自治会で実施した。	227
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	1,235	小学校区を単位として、人権・同和教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めた。昨年度、2小学校区(今一色、二見)を設立し、結成団体数17団体から19団体となった。	227
5. 中学校区ヒューマン・ライツ推進事業	480	それぞれの中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成21年度は、宮川・港・豊浜・城田・御薊・小俣中学校区を研究指定校に指定し実施した。	227
6. リーダー養成研修事業	176	指導者となるべき教職員の資質向上のため、様々な人権課題に関する知識を習得し、その解決に向けた実践の充実をめざし研修会を実施した。	227

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 20,290 千円
 決算額 19,538 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
125				19,413

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	666	人権問題に関する理解と認識を深めるため、子ども人権スクール、成人学習講座などを開き、市民に学習の場と機会を提供した。	227

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 587,835 千円
 決算額 454,810 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
44,854		1,500	41	408,415

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校備品購入経費	22,388	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	229
2. 小学校整備事業	39,369	小学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・給食室改修工事(修道小ほか) 3,794千円 ・スロープ設置工事(佐八小) 1,271千円 ・防球ネット等設置工事(城田小ほか) 8,490千円 ・校舎外壁防水塗装工事(二見小) 1,161千円 ・屋内運動場トイレ改修工事(豊浜西小) 1,949千円 ・給湯器設置工事(早修小) 588千円 ・屋内運動場屋根塗装工事(進修小) 5,986千円 ・洋式トイレ設置工事(大湊小) 1,293千円 ・コンピュータ室空調設置工事(進修小ほか) 3,490千円 ・屋内運動場飛散防止フィルム貼付工事(修道小ほか) 5,119千円 ・防火扉・シャッター改修工事(進修小ほか) 1,583千円 ・シャワーユニット設置工事(小俣小ほか) 2,505千円 ・誘導灯取替工事(大湊小ほか) 483千円 ・太陽光発電システム設置工事設計業務委託(厚生小ほか) 1,601千円 ほか	229

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 70,843 千円
 決算額 68,101 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,662			50	59,389

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	18,301	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校 (伊勢市立小学校全校) ・整備額 11,072,275円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。平成21年度は、新学習指導要領に対応した設備も整備した。 ・整備校 24校 (伊勢市立小学校全校) ・整備額 7,228,365円	229
2. 学校図書館充実経費	11,007	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校 (伊勢市立小学校全校)	229
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	32,052	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費・修学旅行費・学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 546人 (要保護 10人、準要保護 536人)	229
4. 遠距離児童通学費扶助事業	1,858	遠距離通学を行っている児童の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の助成を行った。 対象校：中島小学校、佐八小学校、二見小学校	229
5. 独創的な教育活動推進事業	1,932	小学校5校において、児童一人ひとりの個性を伸ばし、いきいきとした学習活動を行うため、各校の実態にあった創造的な教育活動を推進した。	229

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 341,970 千円
 決算額 265,185 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,534		300		235,351

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校備品購入経費	12,677	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	231
2. 中学校整備事業	29,316	中学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・防球ネット等整備工事（倉田山中ほか） 3,653千円 ・洋式トイレ設置工事（二見中） 1,089千円 ・屋内運動場トイレ改修工事（厚生中ほか） 4,971千円 ・トイレ換気扇設置工事（城田中ほか） 1,250千円 ・屋内運動場飛散防止フィルム貼付工事（二見中ほか） 9,748千円 ・屋外トイレ改修工事（港中） 5,408千円 ・防火扉・シャッター改修工事（宮川中ほか） 1,197千円 ・誘導灯取替工事（豊浜中ほか） 242千円 ・太陽光発電システム設置工事設計業務委託（御園中） 352千円 ・体育倉庫改築設計業務委託（倉田山中ほか） 1,218千円 ほか	231

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 108,412 千円
 決算額 102,812 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,797	620			94,395

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	12,797	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 12校(伊勢市立中学校全校) ・整備額 6,659,983円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。平成21年度は、新学習指導要領に対応した設備も整備した。 ・整備校 12校(伊勢市立中学校全校) ・整備額 6,054,834円 ○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 1校(宮川中) ・整備額 81,795円	231
2. 学校図書館充実経費	9,500	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 12校(伊勢市立中学校全校)	231
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	35,698	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 385人 (要保護 9人、準要保護 376人)	231
4. ALT活動事業	40,304	英語を母国語とする青年を招致し、中学校の英語科担当教員や小学校の外国語活動の時間に担当教員とともに英語活動にあたり国際理解教育の促進を図った。 JETプログラムALT: 3人 民間派遣ALT: 7人	231
5. 自分発見!中学生・地域ふれあい事業	849	中学校2年生を対象として、学校、家庭、地域社会が丸となって地域ぐるみで職場体験活動を組織し「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。市内中学校で3日間の職場体験学習を実施した。	231
6. 独創的な教育活動推進事業	1,459	中学校5校において、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、いきいきとした学習活動を行うため、各校の実態にあった創造的な教育活動を推進した。	233

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 3. 中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 739,404 千円
 決算額 537,816 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
307,748	98,600	20,100	26,848	84,520

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 厚生中学校校舎改築事業	299,750	安全安心な学校づくりのため、平成20年から平成22年の3か年で校舎改築事業を計画した。 平成21年度については旧校舎を解体した後、仮設校舎を建設し、校舎改築に着手した。	233
2. 五十鈴中学校校舎改築事業	238,066	安全安心な学校づくりのため、平成20年から平成22年の3か年で校舎改築事業を計画した。 平成21年度については旧校舎を解体した後、仮設校舎を建設し、校舎改築に着手した。	233

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 183,421 千円
 決算額 172,005 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
745	764		21,364	149,132

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 幼稚園整備事業	247	伊勢市内の幼稚園施設及び学習環境の一層の充実を図った。 誘導灯取替工事 (小俣幼ほか) 247千円	233
2. 幼稚園備品購入経費	880	幼稚園管理、事務処理など幼稚園運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、幼稚園環境の充実を図った。	233
3. 幼稚園緊急地震速報システム整備事業	1,629	大地震の発生に備え、地震被害を未然に防ぐため、すべての幼稚園に緊急地震速報端末を設置し、園児の安全確保を図った。	233

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 105,662 千円
 決算額 105,233 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				105,233

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会教育推進事業	3,579	1. 社会教育の充実 ①社会教育委員兼公民館運営審議会委員 市の社会教育の推進を図り、社会教育に関する諸事業に対して協議した。 ②伊勢市・飯田市婦人会交流事業 両市の友好親善を深めるとともに、婦人会活動の充実と明るいまちづくり活動を全市的に推進するための相互研修として交流会を実施した。 2. 各種社会教育関係団体の活動支援 地域での社会教育活動を支援するため、親子会など地域で活動する団体に補助金を交付し活動の支援を行った。 ・二見町子ども会育成会連絡協議会 ・御菌小学校PTA ・御菌中学校PTA	235
2. 婦人学級開設事業	1,008	修道、有緝、明倫、厚生、中島、早修、神久、一色婦人会が開催する婦人学級活動に対する支援を行った。 開講数 595回 延参加者数 6,189名	235

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 公民館費

(単位 千円)

予算現額 49,788 千円
 決算額 29,627 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,910			1,020	21,697

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公民館管理運営経費	26,265	市立公民館を市民が快適に利用できるよう、修繕等維持管理を行った。	235
2. 公民館補助金	3,362	地域において指定管理している御菌町内の市立公民館の修繕及び備品整備に係る経費の一部(2/3)を補助した。 また、市内自治会が住民の交流の場として設置する地区公民館の建設にかかる費用の一部を補助した。 古市公民館(木造2階建て)	235

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 49,608 千円
 決算額 46,954 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,648			1,840	40,466

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 文化講演会開催事業	971	積極的にプロの高度な文化や学術に触れることができるよう、12月にさかなクンを招き、文化講演会「世界一受けたい授業～おとぎの国のファンタSEA!～」を開催(参加者数299人)。文化の継承及び充実、学術向上を図った。	235
2. 市民芸能祭開催事業	1,300	10月から11月の土日を中心に観光文化会館・伊勢市生涯学習センター2会場において、市内の舞台芸能71団体(うち新規メンバー7団体)、約1,780名が参加。約2,910人が鑑賞した。	235
3. 美術展覧会開催事業	1,204	第56回美術展覧会を平成21年11月10日～15日までの6日間にわたり開催。審査の公正を期すため審査要項を見直し、全5部門で開催した。美術に対する理解を深めるため、会期中に三重県立美術館友の会との共催で美術セミナーを開催した。 出品点数 342点 観覧者数 約2,190人	235
4. 文化財保存整備事業補助金	7,614	指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。 【平成21年度対象事業及び市補助金決算額】 ○重文 金剛證寺本堂 建造物防災施設 事業 ・補助事業者 宗教法人 金剛證寺 ・決算額 7,094千円 ○経蔵 部分修理事業 ・補助事業者 宗教法人 寂照寺 ・決算額 520千円	237
5. 造船資料保存調査経費	1,039	所管する旧市川造船所資料の価値を明らかにして、適切な保存を図るための調査を継続的に実施している。平成21年度は、同資料のうち船舶設計図面を外部委託により調査した。 ・委託先 船の科学館((財)日本海事科学振興財団)	237
6. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,912	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 ・円座町羯鼓踊保存会他22団体	237
7. 二見浦保存管理計画策定経費	857	平成18年7月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、その基準となる保存管理計画を策定するもので、平成21年度は関係分野の専門家及び土地所有者等による名勝二見浦保存管理計画策定委員会を1回開催し、保存管理計画書を作成した。	237

8. 文化財案内板設置 事業	693	市内の旧跡等の文化財に対し、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図るためのものである。平成21年度は、辻久留2丁目の宮川（通称平岩）に当地の地質及び付近を通過すると見られる中央構造線の案内板を設置した。	237
9. 特別展等開催事業	416	第21回特別展として、郷土資料館において「地図で見る伊勢のすがた」（平成22年3月9日～4月11日）を開催し、481人の観覧があった。	237
10. 尾崎弔堂顕彰事業	54	第9回企画展として「弔堂が詠んだ知人・縁者への追悼の歌～短歌に込めた人間・弔堂の想い～」(平成21年8月1日～11月1日)を尾崎弔堂記念館において開催し、378人の観覧があった。 また、第10回企画展として「短歌で結ぶ弔堂と尾崎家の人々」(平成22年3月2日～3月31日)を同館において開催し、103人の観覧があった。	237
11. 山田奉行所記念館 特別展開催事業	400	山田奉行所友の会に委託して、山田奉行所に関連する特別展示を開催し、常設展示を補完した。 ・夏季特別展：「山田奉行所と御船」 観覧者：654人 ・冬季特別展行事：「小笠原流大的式」 約100人 ・冬季特別展：「鎌田屋四世白井徳得遺作展」 836人	239
12. 全市博物館構想推 進経費	478	市内の博物館等との連動企画の実施、博物館等を紹介するためのマップ「伊勢まるごと博物館」を5,000部作成配布等により広く周知を行った。	239

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 9,195 千円
決算額 8,770 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,770

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 青少年健全育成推 進事業	1,632	1. 全国的に展開される青少年健全育成活動に合わせ、横断幕や懸垂幕を掲示し、啓発を行った。 2. 青少年が安心して暮らせる安全なまちをつくるため、また、さまざまな自然体験や生活体験で有意義に過ごせる受け皿を整えるために、青少年育成市民会議への事業委託、地域指導者の育成など、地域主導型による青少年健全育成活動を実施した。 ○平成21年9月6日、地域の青少年健全育成活動者を対象に、研修会「子どもたちをネット被害から守るために」を開催。伊勢市ならびに南勢志摩エリアの活動者82人が出席した。	239

2. 飯田市交流会実施 事業	1,061	山のまち飯田市と海に面した伊勢市の小学生が児童会活動や学校内外の生活、住んでいる地域社会について交流し、友情と連携の輪を強め、次代のリーダーとしての親睦を深めることを目的に実施した。 平成20年度より夏季の隔年訪問交流とし、21年度は飯田市児童代表が伊勢市を訪問した。 ○平成21年8月3～4日、伊勢市の小学生112人と飯田市の小学生24人が、磯遊び体験や海獣とのふれあい、伊勢音頭体験などの郷土芸能体験等を行うことにより交流を深めた。	239
3. 成人式開催事業	1,505	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、成人の日になみ、平成22年1月10日、三重県営サンアリーナにて、「新成人のつどい」を開催した。 新成人代表26人からなる実行委員会において企画運営を行い、地元企業から協賛をいただき、思い出の写真上映や実行委員作成の記念冊子を配布した。 成人者数 男718人 女708人 計1,426人 出席者数 男564人 女583人 計1,147人	239

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 162,339 千円
決算額 157,531 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				157,531

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 図書整備経費	25,997	閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料を購入し、図書館利用の促進を図った。 購入図書資料 伊勢図書館 7,771冊 小俣図書館 5,336冊 購入視聴覚資料 伊勢図書館 39点 小俣図書館 31点	239
2. ブックスタート支援事業	1,744	子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の交流のきっかけとなるよう、対象乳幼児に絵本の2冊入ったブックスタートパックを配付した。 配付数 1,018人	239
3. 図書館運営経費	127,717	伊勢市立伊勢図書館では、平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、指定管理者制度を導入している。 伊勢市立小俣図書館でも、伊勢図書館の指定管理者制度更新に合わせ、平成21年4月から指定管理者制度を導入している。 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種図書館行事を開催するなど、市民の図書館利用促進に取り組んだ。	239

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 13,312 千円
 決算額 12,212 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	659		410	11,143

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習推進事業	9,380	1. 生涯学習講座の実施 生涯学習のきっかけづくりの場として、公民館等を利用し住民の生涯学習への参加・啓発を目的とし、年間講座として各種教室を実施した。 (小俣公民館講座) 全13講座 受講者数239名 (二見公民館) 全9講座 受講者数153名 (御菌公民館) 全8講座 受講者数137名 2. 団体への助成 小俣、二見、御菌地域において、サークル活動や文化祭等生涯学習事業に取り組む3文化協会の活動を補助し、地域における文化活動を支援した。	239
2. 放課後子どもプラン推進事業	814	放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、教育委員会と福祉部局が連携を図り、総合的な放課後対策として実施している。 教育部局が実施する「放課後子ども教室」は、地域で活動する団体にモデル地域を委託し、事業に取り組んだ。 (モデル地域) ・おばた子どもチャレンジ教室 (委託先: 小俣町文化協会) ・いすずウキウキ教室 (委託先: 総合型地域スポーツクラブ「いすずウキウキクラブ」)	239

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 7. 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 95,712 千円
 決算額 86,589 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
990			711	84,888

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習センター施設維持管理経費	86,589	1. 伊勢市生涯学習センター(いせトピア) 平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため指定管理者制度を導入し、平成21年4月からは第2期目の指定管理期間となった。指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んだ。 2. 二見生涯学習センター 生涯学習センターを市民が快適に利用できるよう、修繕等維持管理を行った。	241

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 8. 学習等供用施設費

(単位 千円)

予算現額 9,037 千円
 決算額 8,585 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
624		1,100	809	6,052

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学習等供用施設維持管理経費	8,585	施設を市民が安心し、快適に利用できるよう維持管理に努めた。	241

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 9. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 106,051 千円
 決算額 62,577 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		23,500	1,299	37,778

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光文化会館施設維持管理経費	37,283	観光文化会館管理運営委員会を3回開催し、会館の管理運営全般(指定管理者業務報告など)について審議した。指定管理料、建物総合損害共済基金分担金及び市主催事業等に係る減免使用料を支出した。	241
2. 観光文化会館施設維持補修経費	25,294	施設運営に必要な維持補修工事として、会館の舞台吊物設備工事及び受水槽新設工事を施工した。	241

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 114,288 千円
 決算額 108,101 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			42,815	65,286

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童生徒保健管理事業	104,488	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び園児に対し、校医による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、児童生徒の健康管理に努めた。	243
2. 教職員健康管理事業	2,684	県費負担教職員に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	243

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 540,631 千円
 決算額 531,259 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			79	531,180

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	126,389	「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	243
2. 学校給食施設維持管理経費	6,385	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努めた。	243
3. 給食施設整備経費	3,783	学校給食備品のうち老朽化しているものについて、計画的に購入し設備の充実に努めた。	243
4. 中学校給食共同調理場管理経費	126,840	中学校給食共同調理場における「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。 (実施中学校数 9校)	243

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 70,260 千円
 決算額 64,017 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			6,213	57,804

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯スポーツ推進事業	7,997	体育祭を筆頭に、ソフトボール、バレーボール、マラソン、ウォーキング、ハイキング等、様々なスポーツ大会を開催した。延べ約14,000人の参加者があり、地域住民の健康の維持・増進と生涯スポーツの普及を図ることができた。	245
2. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	5,400	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。 なお、平成21年度においては市内に6団体あり、会員数は総数約2,500人であった。 また、平成21年11月23日(月)には、市内全ての総合型地域スポーツクラブが参加する交流会を開催し、約500人が参加した。	245

3. 集客誘致大会開催 事業	18,810	集客による伊勢市への経済波及効果を図り、全国規模の大会を開催した。 お伊勢さん健康マラソン大会（6,408人）、都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会（878人）、全日本ジュニア体重別相撲選手権大会（150人）、選抜社会人野球大会（500人）、神宮奉納全日本ソフトテニス大会（284人）の5大会を開催した。	245
----------------------	--------	---	-----

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 222,295 千円
決算額 207,949 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,921		76,600	25,187	77,241

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 体育施設整備事業	116,373	主な工事 ①倉田山公園野球場 スタンドフェンス設置工事 1,401千円 ②市宮庭球場 コート張替工事 51,795千円 トイレ改修工事 2,472千円 外周等改修工事 34,444千円 ③御薊B&G海洋センター 屋外排水設備工事 775千円 浄化槽雨水貯留施設転用工事 441千円 ④あさま市民プール 解体工事 7,693千円	245

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1. 農地・農業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 1,303 千円
 決算額 1,029 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	490		264	275

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農地・農業用施設災害復旧事業	1,029	平成21年10月7日から8日の台風18号により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。 16-1屋根シート防水復旧工事	247

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 2. 林業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 3,166 千円
 決算額 3,163 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,163

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 林業用施設災害復旧事業	3,163	平成21年10月7日から8日の台風18号により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。 ・絆の森法面崩落土砂撤去工事ほか2件 ・農林漁業体験実習館倒木処理業務委託ほか4件	247

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 3. 漁港災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 98 千円
 決算額 95 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				95

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 漁港災害復旧事業	95	平成21年10月7日から8日の台風18号により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。 豊北漁港支柱修繕工事	247

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 69,883 千円
 決算額 44,684 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,348		13,500	2,430	1,406

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川災害復旧事業	44,684	<p>平成20年9月18日から19日の台風13号、平成21年1月30日から31日の豪雨、そして平成21年10月7日から8日の台風18号により被災した箇所を復旧を行い、施設の機能回復を図った。</p> <p>(概要) 河川災害復旧工事 【補助分】 ①現年分 5件 L=178.1m ※単独分4m含む 西山川右岸 五十鈴川左岸 亀谷郡川左右岸 大倉川左岸 朝川左右岸 ②平成20年度から繰越 5件 L=66.8m 亀谷郡川左岸 五十鈴川右岸(その1) 五十鈴川右岸(その2) 五十鈴川右岸(その3) 箕曲瀬川左岸 ③平成22年度へ繰越 1件 L=12.4m 朝川支川右岸 【単独分】 ①現年分 2件 亀谷郡川左右岸 L=4.0m 一字田川右岸(その2) 土間コンクリート工事一式 ②平成20年度から繰越 3件 箕曲瀬川左岸 法面工 A=41.0㎡ 仮設配管工一式 朝川左岸 L=29.0m 水汲谷川左右岸 L=17.0m</p>	247

(款) 12. 災害復旧費 (項) 3. 文教施設災害復旧費

(目) 1. 公立学校施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 7,748 千円
 決算額 7,746 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				7,746

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公立学校施設災害復旧事業	7,746	台風18号の強風により被災した防球ネットを補修し施設の機能復旧を図った。 ・園舎軒天補修工事(小保幼) 630千円 ・渡り廊下屋根補修工事(北浜小) 490千円 ・フェンス復旧工事(豊浜東小) 1,040千円 ・屋内運動場ケラバ修理工事(北浜小) 819千円 ・防球ネット復旧工事(今一色小) 3,129千円 ・防球ネット・バックネット復旧工事(小保中) 1,638千円	249

(款) 12. 災害復旧費 (項) 4. その他公共施設・公用施設災害復旧費

(目) 1. 公共施設・公用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 3,626 千円
 決算額 3,623 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,623

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. コミュニティ施設等災害復旧経費	3,623	平成21年10月7日の台風襲来により、賓日館に被害を受けたので、復旧工事を行い、施設の修復を行った。 賓日館災害復旧工事 497千円 賓日館屋内土壁修繕工事 519千円 賓日館銅板一文字葺修繕工事 1,023千円 賓日館屋根瓦復旧工事 1,283千円 賓日館漆喰修繕工事 301千円	251

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,728,122 千円
 決算額 4,728,121 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			51,816	4,676,305

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,724,649	通常償還に加え、公的資金補償金免除繰上償還の承認を得た起債の繰上償還を行った。 このことにより、次年度以降の償還にかかる利子の削減を行った。 利子軽減額 82,561,480円 償還額合計 4,724,649,332円 通常償還額 4,321,463,038円 繰上償還額 403,186,294円	251

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	3,472	過去に三重県より市が借入した災害援護資金県貸付金について、それぞれ県に償還した。 (施策の概要) 災害援護資金県貸付金 … 3,471,909円 ・平成20年度上半期償還額 … 2,505,277円 ・平成20年度下半期償還額 … 966,632円 県貸付要綱に基づき、上記のとおり災害援護資金貸付金の償還を行った。	251

【国民健康保険特別会計】

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,765,937 千円
決算額 7,587,711 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,076,187	270,237		1,144,585	4,096,702

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,587,711	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 513,887件 (2) 年度平均被保険者数 34,672人	269

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 405,749 千円
決算額 398,714 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			323,761	74,953

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	398,714	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 28,614件 (2) 年度平均被保険者数 1,605人	269

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 70,773 千円
決算額 67,752 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,391	2,031			48,330

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	67,752	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 9,184件	269

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 3,275 千円
 決算額 3,013 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,447	566

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養費	3,013	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 542件	269

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 51,380 千円
 決算額 45,564 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,040				44,524

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出産育児一時金	45,564	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 116件	271

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 12,000 千円
 決算額 10,750 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				10,750

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 葬祭費	10,750	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 215件	271

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 129,129 千円
 決算額 120,991 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,146	23,146			74,699

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査等事業費	120,991	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 14,061件	275

【老人保健医療特別会計】

(款) 2. 医療諸費 (項) 1. 医療諸費 (目) 1. 医療給付費

(単位 千円)

予算現額 7,000 千円
決算額 1,674 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			326	1,348

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市負担額(医療給付費)	1,674	老人保健法の改正により、平成20年4月より後期高齢者医療制度が施行されている。改正前の平成20年3月31日までの診療にかかる再審査分等について精算額を支出した。	287

(款) 2. 医療諸費 (項) 1. 医療諸費 (目) 2. 医療費支給費

(単位 千円)

予算現額 500 千円
決算額 41 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8	33

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市負担額(医療費支給費)	41	老人保健法の改正により、平成20年4月より後期高齢者医療制度が施行されている。改正前の平成20年3月31日までの診療にかかる高額医療費を支給した。	287

【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金

(項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 2,090,713 千円
 決算額 2,055,441 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,055,441

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	2,055,441	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 924,082千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 199,137千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 9,164千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費（共通経費）の市分担金 48,461千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 874,597千円	297

【介護保険特別会計】

○保険事業勘定

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 8,976,922 千円
 決算額 8,825,903 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,098,469	1,298,021		2,657,397	2,772,016

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 居宅介護サービス給付費負担金	3,852,257	要介護被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給付費 支給件数 76,472件	311
2. 地域密着型介護サービス給付費負担金	708,454	要介護被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する保険給付費 支給件数 4,099件	311
3. 施設介護サービス給付費負担金	3,000,301	要介護被保険者が受けた施設サービス等に対する保険給付費 支給件数 12,489件	311
4. 居宅介護福祉用具購入費負担金	13,500	要介護被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付費 支給件数 512件	311
5. 居宅介護住宅改修費負担金	40,672	要介護被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 405件	311
6. 居宅介護サービス計画給付費負担金	418,754	要介護被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計画作成に対する保険給付費 支給件数 32,638件	311
7. 介護予防サービス給付費負担金	226,914	要支援被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給付費 支給件数 8,659件	311
8. 地域密着型介護予防サービス給付費	3,907	要支援被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する保険給付費 支給件数 51件	311
9. 介護予防福祉用具購入費負担金	2,511	要支援被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付費 支給件数 128件	311
10. 介護予防住宅改修費負担金	20,268	要支援被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 177件	311

11. 介護予防サービス 計画費負担金	28,689	要支援被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計画作成に対する保険給付費 支給件数 6,713件	311
12. 高額介護サービス 費負担金	132,545	要介護被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 14,458件	311
13. 高額介護予防サ ービス費負担金	45	要支援被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 68件	311
14. 特定入所者介護 サービス費負担金	376,905	低所得の要介護被保険者が居宅サービス（短期入所に限る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費等に係る費用の一部に対する保険給付費 支給件数 11,633件	313
15. 特定入所者介護予 防サービス費負担 金	181	低所得の要支援被保険者が居宅サービス（短期入所に限る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費等に係る費用の一部に対する保険給付費 支給件数 36件	313

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予算現額 110,337 千円
決算額 91,919 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,786	14,393		32,726	16,014

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定高齢者把握事 業	88,174	65歳以上の市民を対象に要支援、要介護状態に移行することを予防するために生活機能評価を実施し、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）の早期把握に努めた。14,778人が受診し869人の特定高齢者が把握できた。	313
2. 運動器機能向上事 業	790	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に転倒骨折予防教室を開催した。筋力トレーニングや体操等を行い、転びにくい体づくりに取り組んだ。 延べ107回、384人の参加を得て要介護状態になることを予防した。	313
3. 栄養改善事業	11	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に栄養改善教室を実施した。低栄養状態を改善するための食べ方や食事作りなどの個別相談を行った。 延べ5回、7人の相談指導を行った。	313

4. 口腔機能向上事業	116	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に口腔訓練教室を実施した。口の健康を保つための相談や嚥下機能が向上する訓練などを集団指導や個別の相談で行った。 延べ31回、44人の相談指導を行い、口腔機能の向上を図った。	313
5. 認知症予防事業	942	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められる市民を対象に脳活性化教室を実施した。脳機能検査により脳の働き具合を把握し脳を刺激する生活改善リハビリや音楽療法などを行い認知症予防に努めた。 延べ61回、201人の参加があり、参加者の脳機能の改善・維持がみられるなど、要介護状態になることを予防した。	313
6. 訪問型介護予防事業	3	65歳以上の市民を対象とした生活機能評価の結果、特定高齢者（要支援・要介護になるおそれのある高齢者）となり介護予防事業への参加が望ましいと認められるが、通所が困難な市民を対象に訪問指導を実施した。保健師や歯科衛生士などが延べ7回、7人に相談指導を行った。	313
7. 介護予防普及啓発事業	1,826	65歳以上の高齢者を対象に、中央保健センター及び地域において介護予防講座、すこやか教室（老人クラブ）、通所型介護予防事業、訪問指導などを実施し、延べ242回、3,918人に要介護状態になることを予防するための様々な知識の普及啓発を行い、介護予防の推進に努めた。	313
8. 地域介護予防活動支援事業	57	地域における介護予防に関する自主的な活動が実施されるよう認知症予防や転倒骨折予防を目的とした自発的な活動の育成・支援を行った。 延べ390回、4,324人が活動を行い、その内の延べ79回、1,084人に支援を行い、活動が継続された。	313

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費

(目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 117,811 千円
決算額 113,351 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
52,214	26,107		10	35,020

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 介護用品支給事業	16,602	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 クーポン券配布者数 393人	315 頁

2. 介護給付費等費用 適正化事業	2,163	利用者へ給付費通知書を発送することで、適切な介護サービスの利用を促した。 発送回数 3回	315
-------------------------	-------	---	-----

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防ケアマネジメント事業	162	要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者（特定高齢者）に対して、保健師が家庭訪問等を通じて、介護予防事業の参加勧奨を行い、必要な対象者にケアプラン作成を行った。	313
2. 総合相談事業・権利擁護事業	5,131	高齢者の生活を福祉、介護など総合的に支えるため、高齢者本人及び家族からの相談に対して、さまざまな制度や社会資源の紹介や支援を行った。また、高齢者虐待、成年後見制度等の啓発を行った。	315
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	3,518	包括的・継続的なケアマネジメントが行えるよう、関係機関との関係づくりに努めるとともに、地域の介護支援専門員への助言・支援及び資質向上研修への協力を行った。	315
4. 地域包括支援センター運営事業	30,250	地域包括支援センターを増設し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	315
5. 在宅介護支援事業	6,300	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行った。	315
6. 食の自立支援事業	6,589	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で買い物と調理が困難な者に対し、栄養のバランスのとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防・生活支援を行い、高齢者への福祉の増進を図った。	315
7. 高齢者住宅等安心確保事業	10,306	高齢者向け優良賃貸住宅正邦苑竹ヶ鼻、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することによって、高齢者が安全かつ快適な生活が営むことができるよう、自立した在宅生活を支援した。	315
8. 成年後見制度利用支援事業	66	判断能力が不十分な高齢者の財産管理や法律行為を行い本人を支援・保護するための成年後見人制度の支援を行うことにより、その利用促進を図った。	315
9. 生活管理指導事業	172	基本的な生活習慣が欠如している等、社会適応能力が困難な高齢者等に対して日常生活に対する指導・支援を行い、基本的な生活習慣を身に付けさせることにより、要介護状態への進行の予防を図った。	315

○介護サービス事業勘定

(款) 1. 事業費 (項) 1. 介護予防サービス事業費

(目) 1. 介護予防サービス事業費

(単位 千円)

予算現額 35,053 千円
 決算額 32,707 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			16,156	16,551

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防サービス 計画作成事業	13,210	介護認定審査会において、要支援1または要支援2と認定された要支援者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行い、要支援状態の改善や重症化予防を行った。	321